	No. 40 —	1 基本事務事業	8 吉野中夕	央公民館 企	全画運営事業	事務事	業名	ども教室事業		公的関与 8	シ	一卜作成日 平成2	3年6月2日
	部局名	教育	委員会		課名	公民的	館	主務課長	名	井上雅夫	シー	-卜作成者名 高	橋昭博
	事業区分	1 ソフト事業2 ハード事			と常的事務事 記の維持管]金・負担金・支]管理事務・ <i>そ0</i>		業運営方法		_	È部委託 輔助等
	総合計画	基本構想(政策 基本計画(施策 主要施策) (2)生涯	重学習の 対		の数供が		実施計画 1 該当	平		平	の開始・終了 成 年 / 図期間 法 阿波市公民館条例	設定なし
		計争(無な			童、保護者(定洪	人 	T	(拠広り寺 仁	五	丛 阿 波印公氏路末例	
		目的(どうい <mark>最</mark> う状態にし	:終的 いろ	いろなこと	を体験し、教	育文化∙生	活文化の	の振興、及び仲間	引づくりとし	ての連帯感の意	哉高揚?	を図ります。	
PL			·年度			_							
AN	事業の 活動内容	② お菓子の家 [*] ③	読み聞かせは	、吉野地区	内の保育所・幼	稚園・小学校	で行い、					仲間づくりなど教育文化の 教育文化の振興を図りま	
		4 5 15.4 7	T=1 &	<u>~ + ¬ / + +</u>	ᇰᆂᇑᄛᇝᅟᅼᅩᅖᆠ	.T × /+			左连	T. C. C.	#	亚宁 00 左连	
		指標名	計算	は以又に与	旨標設定理 由	単位	□ ==	平成 21		平成 22 年	<u>度</u> 60	平成 23 年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	読み聞かせ参加者数	250	O人×12月	月=3,000人	人	目標 実績		60 60		3,000		
	及び活動内容の達成度	お菓子の家作り参加る	盾数 年2	回=70人		人	目標 実績		50 20		50 70	70	
	を測る指標)						目標 実績						
	予算費目	会計		一般会計	•	款	10 教	育費	項	5 社会教育費	1	目 3 公民館費	
			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23 年度 ⁻	予算	備考	
		国庫支出金			千円			千円			千円		
		県支出金			千円			千円			千円		
D -	直接事業費	地方			千円			千円			千円 千円		
DO		その他特定財派 - 般財派			千円 140 千円			千円 50 千円		E(十円)千円		
		<u> </u>	水		140 千円			50 千円) 千円		
		正職員工数:経費	 0.100	人	628 千円		人	613 千円	0.100		十八 十八		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種		, ,									
	◇	臨時·嘱託工数·経療 業費(A+B)	費 0.000	人 <u> </u>	0 千円 769 千円		人	0 千円	0.000) 千円		
	王仲争	未頁(ATB)			768 千円			663 千円		052	千円		

				チ	ェック項目					_	次評	西		_	-次評価(の説明	月		二次	評価	5
		1.					、確保できる等 グ響は大きくな		0	少ない	0	大き	÷۱۱	自己の教 切磋琢磨				0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	状況の中、次	年度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	•	ない		ある		振興を図 必要性が			ば、十分	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために	現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない	١	必安はル	めりょう。			0	ある	•	ない
		4.		D低下がみら ごスとなって		[隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	:L1					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	こ、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	`/ ©	いえ	.る	幅広い年 流を深め				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなり	`/ •	いえ	.る	など、成り				0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	6施策の中で	類似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	0	しな	ı۱					0	する	•	しない
CHEC		4.	事業の継続を	としても成果	の向上が期	待で	ごきない。		0	できなし	γ <u> </u>	でき	る					0	できない	•	できる
K		1.	目標設定に対	付して進捗状	況が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて会	劣ってい	る	積極的に 参加率も				0	目標に比べ	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対	付して成果が	あまり上が	うて	いないと思う	0	0	あまり上	がってし	いない		は達成で				0	あまり上が	ってい	ない
	度	3.	目標設定に対	付して概ね目	標を達成し	てい	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成	えして	いると思う。		•	十分達	成して	いる						•	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	こコストが高	۱۱ _°				0	高い	0	適当	当	少ない予 用の一部				0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	* のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	でき	ない	など、効果				0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施手	段等	を見直す余地	゚゚ゕ゙゙ある。	0	ある	0	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更	などにより	コス	く ト削減の余地	゚゚゚がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
						次評									=	次評	価				
	評値	西点	必要性	有効性	達成	芰	効率性	総合評	·価		必要	性	7	与効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	価
	△ ½	を の	3 ○ 拡大・充	4 	_ 4 _ 状維持		<u> 4 </u>	A ○ 民間委i	4 生		<u>4</u>)拡:	大・充	<u> </u> 宝	4 ● 現状	<u> 4</u> :維持		<u>4</u> 方法改善	‡	○ 民間	A ∃禾≣	·····································
		句性	○ 縮小		灰幅的 冬期設定		<u> </u>	〇 以间安市	<u> </u>					統合/終			<u> </u>		O KIF		<u> </u>
C				9 4,70 11 4	~//, L//, C		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				<u>- Чи</u>	•	二次	評価での					の相違点	į	
ACT-0			子ども教室事きたいと思いる		ため、今後	とも゙゙゙゙゙゚	舌動範囲を広け	^デ 、参加者も増 ^り	やして		サボノ	ひを作る中	⋸ よ ミ .⊘.	要です。							
N	と事	革案 実行 画	限られた予算	で活動してい	るため、効薬	率よく	(無駄のないよ	うに進めます。			t1Λ C 0	ノ州土村の	נאי ענ	女しり。							
	委員 指摘	員会 i事項																			

	No. 40 —	2 基本事務事	業名 吉野	中央公民館	馆生活文化振興	事業	事務事業	集名 各種	重団体の	育成		公的関	5 9 シ	一卜作成日	平成23	3年6月2日
	部局名	教	育委員	会	課名		公民飢	Ė	主務語	果長名	i	井上雅夫	も シー	−ト作成者名	高村	喬昭博
	市米広八	① 1 ソフト ③	事業	0	3 経常的事	務事業		5 補助:	金•負担金	⋛∙支援	爱 击,	"宝兴士"	_ _ 1 値	営	3 全	部委託
	事業区分	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維	持管理	! 0	6 内部	管理事務	・その	他	業運営方法	2 -	-部委託 [√ 4 補	助等
		基本構想(政	策)1.	人が輝くる	まちづくり				実施計	-画			事業	の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (2)	生涯学習	の充実			0	1 該当		平	成	年 ~ 平	·成 年 [✓ <mark>期間</mark>	設定なし
		主要施策	(6)	関係団体	の育成			<u> </u>	2 非該	当	根	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	阿波市民	そ、各クラブ	が団体 他											
		目的(どうい う状態にし	最終的	市民、各	団体等の活動	を通して	て親睦∙亥	を流を深	め、生活文	化の向	り上を図り	ります。				
PL		たいのか)	今年度													
A		具体的にどの														
N)			、市民の方々の											
	事業の)			こ開催し、囲碁											
	活動内容	③ トールペイ														
)			回開催し、作品											
)			F消費者協会			ア活動等								
		指標名	<u> </u>	【江算信	スは指標設定	埋田	単位		半 水	21 4		半风	22 年度	平成 23 年		最終目標
	数値目標	茶道教室		毎月3回	×12月=183	人	人	目標			288		288 183		150	
	(事業の目的 及び活動内							実績 目標			200 816		816		640	
	及び活動内 容の達成度	囲碁の集い		毎月4回	×12月=677人		人				692		677		040	
	を測る指標)						.	目標			120		120		100	
		トールペイント		毎月1回:	×12月=97人		사	実績			72		97			
	予算費目	会計			:会計		款	10 教育	育費		項	5 社会	教育費	目 3 公	と民館費	
				成 2	11 年度決	算	平成	22	年度決	算	平成	23	年度予算		備考	
		国庫支出				千円				千円			千円			
		県 支 出	金			千円				千円			千円			
	直接事業費	地 方	債			千円				千円			千円			
D	但以于不良	その他特定則				千円				千円			千円			
0		一般財	源		125				260				260 千円			
		計(A)	- th		125	千円			260				260 千円			
		正職員工数·網		700 人	4,398	千円	0.700	人	4,288	千円	0.700	人	4,231 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職 臨時·嘱託工数·	-	000		- m	0.000			- m	0.000		0			
		^{蹋呀·嘱託工剱・} 業費(A+B)	在負 U.	000 人	4,523	千円	0.000	人	4,548	千円	0.000	<u> </u>	0 千円 4,491 千円			
	土冲争	木貝(ATD)			4,323	十円			4,348	十円			4,431 十円			

				チェ	ニック項目					_	次評	西		_	-次評価の	の説明	明		二次	評価	i
		1.		なくても、公平 事業を廃止・					0	少ない	0) 大き	い	市民の方めたり、彩				0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		る場であると思いる		、必要	要性があ	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手段	没、ブ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない		ると思いる	F9 。			0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いなし	ı					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内容	容が必	びずしも適切と	はいえない。	0	いえなり	۱ (o	いえる	3	趣味の活に利用さ	動、各種:	会合ん	の研修等	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなり	٧ .	いえる	<u>ร</u>	加している	るので、有			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	۸,	思います	0			0	する	•	しない
HEC		4.	事業の継続を	をしても成果の	D向上が期	待で	きない。		0	できなし	۰ O) できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて会	劣ってい	る	クラブ数I れぞれに				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり上	_がってし	いない		に参加し	ていること	から、		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してに	いる		きている	:思います	0		0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成して	いる						•	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	てコストが高い	N _o				0	高い	•	適当	i	少ない予すが、一				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	か新たな制	度を	·活用できる。		0	できる	•) できた	ない	ですし、タ				0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	上成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	゚゚ゕ゙゙ある。	0	ある	•	ない		す。				0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	゚゚゚ゕ゙ある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						次評										次評					
	評値	三点	必要性	有効性	達成度	臣	効率性	総合評	価		必要		7	与 効性	達成原	隻	効率	生	総	合評	価
	△ ½	後の	4 ○ 拡大·充	<u> 4 </u>	<mark>│ 4</mark> ⊹維持	0	4 方法改善	A ○ 民間委詞	4 生			大・充	<u></u>	4 ● 現状	4_ 維持		<u>4</u> 方法改善	É		A 引表記	4年
A		対性	○ 縮小				<u> </u>	〇 以间安市	<u></u>					統合/終			<u>万么设。</u> 廃止/休		O LAIF		<u> </u>
C			9 114 6	- 135 H / 1/4	.,,,,,,,,		77				<u>- Чи</u>	_)	評価での					の相違点	į	
ACT				ないこと、新規	のクラブ数	の開	拓を図ることも	兼ねて、利用す	当数 を	E増											
10	課	趄	やしていきたい	いです。																	
N	沙吉	直案								総	፟፟፟続して	て実施し	し、ホ	i民への周	知が必要	です。	o				
	と事	€行	幅広い年齢層	層の方々の親睦	∳・ 交流を深	める	場の提供に努	めます。													
	計																				
	委員指摘	€会 事項																			

	No. 40 —	3 基本事務事	業名 吉里	5中央公月	民館施設管理	事業	事務事為	業名 公	民館施設管理	事業		公的関与	6 シ	一卜作成日	平成23	3年6月2日
	部局名	教	枚育委員	会	課名		公民館	官	主務課長	名	j	井上雅夫	シー	−ト作成者名	高	橋昭博
	事業区分	○ 1 ソフト?	事業	0	3 経常的事	事務事業	業 〇	5 補助:	金・負担金・ラ	支援 しんしん	車業	運営方法		営	3 全	:部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	•	4 施設の約	推持管理	里	6 内部	管理事務・そ	の他	争未	建呂刀 法「	_ 2 -	-部委託	4 補	助等
		基本構想(政		人が輝くる					実施計画				事業	の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	(2))生涯学習	の充実			0	1 該当		平成	年	~ 平	·成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習	関連施設の	整備充	実・機能強	強化 ●	2 非該当		根拠	l法令等				
		対象(誰を、 何を)	阿波市貝	₽												
		目的(どういう状態にし	最終的	地区市民	の方々の教	養の向.	上、資質等	等の向上	、生活文化や	教育文·	化の振	興を図ります	0			
PL		たいのか)	今年度													
A		具体的にどの		舌動を行し	いますか。(主なもの	か5つまで	で)								
N		① 消防設備														
	事業の	② 電気の保														
	活動内容	③ 保安警備														
		0 1 1 1 1	日等の施	設維持管理	里											
		5	_	T-1 15		I				, .			,			
		指標名	<u>K</u>	計算式又	スは指標設定	E 理由	単位		平成 2			平成 22		平成 23		最終目標
	数値目標	開館日数		年間3591	B			目標			359		359		359	
	(事業の目的							実績		-	359		359		18	
	及び活動内 容の達成度	利用者団体数		茶道教室	图 他18			目標 実績			19 19		19 18		18	
	を測る指標)							目標			-10		- 10			
								実績								
	予算費目	会 計		一般	会計		款	10 教育	育費		項 5	社会教育	費	目 3	公民館費	
				^Z 成 2	11 年度	決算	平成	22	年度決算	平月	成	23 年月	度予算		備考	
		国庫支出				千円			千F		-		千円			
		県 支 出	金			千円			千F	9			千円			
	直接事業費	地 方	債			千円			千F				千円			
D	正汉于不负	その他特定原				4 千円			39 ∓F				10 千円			
0		一 般 財	源		2,86				3,030 ∓F	_			93 千円			
		計(A)	/ □ # •		2,90				3,069 ∓F				03 千円			
		正職員工数:		.200 人	1,25	7 千円	0.200	人	1,225 千F	9 0.2	200 人	. 1,2	<mark>09</mark> 千円			
		臨時·嘱託耶 臨時·嘱託工数·		000 1) T.E.	0.000		0		000 1		0			
		^{臨時・鳴託工数・} 業費(A+B)	· 在負 U	.000 人		O 千円 O 千円	0.000	<u> </u>	0 千F 4,294 千F		000 人	4.5	0 12 千円			
	土冲争。	★貝(ATD)			4,10	J T円			4,294 十日	7		4,0	12 十円			

				チェ	ック項目					_	次評値	西		_	一次評価の	の説	明		二次	:評価	5
		1.					、確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大きし	۸,	地域のた	ī々が、積 め、必要!!	極的(生は十	こ利用し -分にあ	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		ると思い	ます。			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手具	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない		1				0	ある	•	ない
		4.)低下がみられ ごスとなってし		:隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いなし	۱,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	, O	いえる	5	各種団体	が有効的]に利	用してい	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	シネリ化など、)	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえなし	,	いえる	5	670				0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	6施策の中で類	類似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	١					0	する	•	しない
CHMC		4.	事業の継続を	としても成果σ)向上が期	待で	ぎきない。		0	できなし	,	できる	5					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	記が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣っている	გ გ		が少ないの 成される。			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	まり上が	って	いないと思う	0	0	あまり上	:がってし	いない		ていきた		トノ、 F	10.9.1)	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	標を達成し	てい	いると思う。		•	概ね達	成してし	いる						0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	付して十分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成してに	いる						•	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	こコストが高し	١,				0	高い	•	適当			様の方々; しやすいな			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	*のノウハウギ	新たな制	度を	活用できる。		•	できる	0	できた	ほい	う、施設	整備の見し	直し、	維持管		できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	:、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない		埋、効率 思います	性等を高。 - 。	めてし	きたいと	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	こどにより	コス	ト削減の余地	!がある。	•	ある	0	ない						0	ある	•	ない
						次評										次評					
	評値	三点	必要性	有効性	達成原	隻	効率性	総合評	·価		必要	性	7	有効性	達成	度	効率	生	総	合評	価
	△ 2	後の		<u> 4</u> E実 ● 現物	3 :維持		<u>2</u> 方法改善	B ○ 民間委i	4 生		4	 大•充:	<u></u>	4 ┃ ⑥ 現∜	4 _ 犬維持		4 方法改善	ŧ		_ <u>A</u> 『委言	·····································
		句性	○ 縮小)	廃止/休止	〇 以间安市) 縮,		$\frac{\overline{}}{}$	統合/終			廃止/休		O IXII	134	<u> </u>
ACT			ं गांध इ	المراز المراز	77711272	<u> </u>	<i>30</i> — 11—				у пр	_)指摘事」				の相違点	į	
10		題	施設の老朽化	とが進んでいる	ため、整備	が必	必要です。			£	ע ושו	5 ナ 15	→ 47	<i>+</i> >τ==+±1=:	女マ い フ						
N	と事	草案 実行 画		う々が今以上に 推持管理を図り		しゃ	っすい公民館と	して、少ない予	算内		ішС1	~ 9 L \ E	文灯:	な環境に	ମ ଝାବଃ						
	委員 指摘	員会 事項																			

	No. 40 —	4 基本事務事	業名 吉里	抒柿原公 氏	民館施設管理事業	事務事	業名 公月	民館施設管理	事業	公的関与 6	シート	作成日 平成2	23年6月2日
	部局名	孝	收育委員	숲	課名	公民的	館	主務課長	名	井上雅夫	シート作	F成者名	橋昭博
	事業区分	○ 1 ソフト	事業		3 経常的事務署	事業 〇	5 補助3	金・負担金・支	援 🗼	業運営方法	1 直営	□ 3 ±	È部委託
	争未区万	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持管	き理 〇	6 内部管	管理事務·その)他	未理呂万法 🔽	2 一部才	委託 □ 4 衤	甫助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くる	まちづくり			実施計画			事業の開	開始・終了	
	総合計画	基本計画(施	<mark>〔策〕</mark> (2)	生涯学習	の充実		0	1 該当		成 年 ~	平成	年 🗸 期間	設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習	関連施設の整備	充実•機能	強化 🔘	2 非該当	柜	艮拠法令等			
		対象(誰を、 何を)	阿波市瓦	民(吉野町村	市原地区)								
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	地区市民	の方々の教養の	向上、資質等	等の向上、	、生活文化や教	育文化の	振興を図ります。			
PL		たいのか)	今年度										
A					ゝますか。(主なき	もの5つま	で)						
N		① 公民館施											
	事業の			₹育・生涯学	学習関連情報の提	供							
	活動内容	③ 施設の維	持管理										
		4											
		5	_	I - 1 - 1 - 1 - 1		11 3271			, -				
		指標名	<u> </u>		スは指標設定理的			平成 21		平成 22 年		平成 23 年度	最終目標
		利用人数		公民館のして	使用頻度の指標	ᅵ	目標		1,000		1000	800	
	(事業の目的			CC			実績		767		750		
	及び活動内 容の達成度						目標 実績						
	を測る指標)						目標						
							実績						
	予算費目	会 計		— 般	会計	款		 音	項	5 社会教育費		目 3 公民館費	
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		平	成 2			22	年度決算	平成	23 年度		備考	
		国庫支出	金		千日	_		千円			千円		
		県 支 出	金		千日	円		千円			千円		
	直接事業費	地 方	債		千	-		千円			千円		
D	但按爭未負	その他特定			13 ∓⊩	円		13 千円		10	千円		
0		一 般 財	源		577 千日			653 千円			千円		
		計(A)			590 千I			666 千円			千円		
		正職員工数:		.100 人	628 千년	円 0.100	人	613 千円	0.100	人 604	千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託耶				2.00							
	^ /L → ·	臨時·嘱託工数·	·経費 0.	.000 人	0 +1		人	0 千円	0.000		千円		
	全体事	業費(A+B)			1,218 千日	円		1,279 千円		1,279	千円		

					チェ	ック項目					_:	欠評価	<u> </u>	_	-次評価⊄	D説明			二次	評価	5
								、確保できる等 〈響は大きくな		0	少ない	•	大きい	て、地域化	法に基づ 主民の方々	マが集	う場	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	:況の中	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	められない。	•	ない	0	ある	所、またなして必要を	生涯学習活	5動の排	拠点と	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	句上のか	ために、	現在の手具	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない	して必安	C 9 。			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサート				:隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	るために	、事業内容	容が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	· •	いえる		があまり多 あるため、			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化	ンなど、旅	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	· •	いえる	方々が気	,軽に利用	できるカ	施設と	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策0	の中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	す。	口等行う必	要があ	5りま	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても	も成果の	向上が期	待で	きない。		0	できなし	• •	できる					0	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	して近	進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標によ	七べて劣	っている		様、如何に か、考慮す			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して原	戊果があ	まり上が	って	いないと思う	0	0	あまり上	がってい	ない	ます。	37、石思》	യമാ	£13.00.5	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して根	既ね目標	を達成し	てい	ると思う。		•	概ね達別	或してい	 る				ľ	0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	けして十	ト分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分達						Ī	•	十分達成	してい	<u>ි</u>
		1.	効果に比べて	ニコスト	トが高い	0				0	高い	0	適当	効率性が	良いとはる	言えま [・]	せん	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	このノウ	ナハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できない	しては維持	持管理費(りみで		0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果0	D関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない	一め、削減し	は困難です	۲,		0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法0	の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない				ľ	0	ある	•	ない
						<u> </u>	次評	価							=:	次評価	<u> </u>				
	評値	T 点	必要性		効性	達成原	茰	効率性	総合評	価		必要′	性	有効性	達成原	麦	効率性	ŧ	総	合評	価
			3		<u>4</u>	3		4 +>+>+>+	A	7 55		4		4 1 © TBJU	4		4 ⊢>+¬+≠	_		<u>A</u>	~ <i>h</i> .
		後の 句性	○ 拡大・充		 現状			方法改善 廃止/休止	〇 民間委託	七寺			大・充実 \		維持		5法改善 廃止/休.		○ 民間]安記	【
A	יו נכ	-) IX	○ 州日小、	一 市	儿口/ 於:	劝 政化		完工/ 下工						大評価での					の相違占		
ACTIO			地域住民の方 んでおり整備			える施設と	として	、利用の推進が	が必要です。老	;朽化		田しわ		子な環境に勢		<u> </u>	火 町	<u> </u>	沙伯连东		
N	と3 計	·画	施設の利用率 行う必要があ			で。また市:	全体	の公民館として	 、運営方法の	見直し		, n C (,0.改死	′0・坪・灯 〜 ブ	⊒ ທ <i>່</i> າ⊘ o						
	委員指摘	員会 i事項																			

	No. 40 —	5 基本事務事	業名 八帕	番公民	館企画道	運営事業	事務事	業名三	世代ふれあい	事業	公的	対関与 8 シ	一卜作成日 📑	平成23年	6月6日
	部局名	教	育委員:	会		課名	公民的	館	主務課長	名	井上邪	養夫 シー	-卜作成者名	大	村浩子
	事業区分	● 1 ソフト	事業		○ 3 経	常的事務事	業	5 補助	カ金・負担金・支	援 🗼	業運営力	_; 1 直	[営 [3 全	:部委託
	争未区万	○ 2 ハード	事業		〇 4 施	設の維持管	理	6 内音	『管理事務・その	D他 ^事	未理呂力	2 -	-部委託 [4 補	i助等
		基本構想(政	<mark>.策)</mark> 1	人が輝	くまちづ	らり			実施計画			事業	の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策)(2)	生涯	学習の充	実		(● 1 該当	平	·成	年~平	成 年 [✓ 期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色あ	5る生涯学	空プログラム	ℷの整備・៎	提供(2 非該当	村	艮拠法令	等 社会教育	法 阿波市公民	館条例	
		対象(誰を、 何を)	八幡老人	、クラブ	`•八幡婦.	人会ヘルスメ	イト・八幡ハ	小学校6	年生児童						
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	三世伯	代が一緒に	こひな祭り料	理を作り、	健康講愿	座や演芸を開催	しお節句と	卒業を祝	い、人との出会	い体験学習を実	施してい	ます。
PL		たいのか)	今年度												
A		具体的にどの			行います	か。(主なも	の5つま	で)							
N		① 栄養士に													
	事業の	② 三世代間		調理第	官習										
	活動内容	③ 健康講座													
		④ 小学6年生	E児童に。	よる芸育	能発表会										
		5		I = 1 ##=	r -	1==n +-m	1 11/11				— ·		- I		
		指標名		計算	式又は指	標設定理由	単位	□ 1 ==	平成 21			22 年度	平成 23 年		最終目標
	数値目標	三世代ふれる理教室参加を		1回	70人		人	目標		75 65		60		60	
	(サベジロロ)	<u> </u>	自奴					実績目標		65		56			
	及び活動内 容の達成度							実績							
	を測る指標)							目標							
								実績							
	予算費目	会 計		_	-般会計		款	10 教		項	5 社会	会教育費	目 3 2	公民館費	1
			平	成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算		備考	
		国庫支出	金			千円			千円			千円			
		県 支 出	金			千円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円			
D	但汉于木具	その他特定則				千円			千円			千円			
0		一般財	源			68 千円			60 千円			90 千円			
		計(A)				68 千円			60 千円			90 千円			
		正職員工数:		100 ,	人	628 千円	0.100	人	613 千円	0.200	人	1,209 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		000		<u> </u>	0.000		0	0.000	, ,	0 ==			
	△ / / 古 ·	臨時・嘱託工数・	社 質 0.	000 ,	۸	0 千円		人	0 千円		人	0 千円			
	至仲争	業費(A+B)				696 千円			673 千円			1,299 千円			

					ック項目					_	·次評(西			-次評価(二次	評価	5
		1.					、確保できる等 〈響は大きくな		0	少ない	•	大き	ı١	少子高齢 現在、高	化·核家 齢者·婦人	族化し 〈会・J	ている 見童が一	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	!められない。	0	ない	•	ある		同に集い 代間の違				0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手具	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない		める事業				0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		:隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いなり	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	容がず	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	را ا	いえる	る	お節句と	児童の卒 或の人達(0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	シネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえな	۱, O	いえる	る	着しており	り、三世代	間の	学習の	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	6施策の中で数	頁似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	い	一境とし	て有効性に	ま局し	ヽです。	0	する	•	しない
CHMC		4.	事業の継続を	Εしても成果の)向上が期	待で	きない。		0	できな	, •	できる	გ					0	できない	•	できる
K		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る	参加者にす。	は大変好	評を	得ていま	0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり」	_がってし	ハない		9 0				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てい	いると思う。		0	概ね達	成してい	いる						0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してい	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				0	高い	0	適当	á	経済面か実し効率				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウヤ	か新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	ない	大し効平	圧は向い	C 9 o		0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	力方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
					-:	次評	価				_				=	次評	価				
	評値	西点	必要性	有効性	達成原	叓	効率性	総合評	価		必要	性	1	与効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	価
		後の		<u> 4</u> E実 ● 現物	4 + %# +±		4 方法改善	A ○ 民間委i	1年		<u>4</u>	大・充	+		<u>【 4</u> ┞維持		<u>4</u> 方法改善	É		A 表	1年
		句性	○ 縮小	□			廃止/休止	〇 民間委託	[可		○ 拡: ○ 縮:			統合/終			<u>万压以是</u> 廃止/休			少	L 寸
A	751	,,_	○ 1110 · 1		1771DX /C		光 亚/ 附亚				<u> </u>	•)	評価での					の相違点	į	
ACT-O		面の !題	事業がマンネ	リ化しないよう	に、充実し	たプロ	ログラムの企画	「に努めます。			中京			定着して下			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•	
N	と3 計	革案 実行 ·画	三世代ふれあ ていきます。	らい事業として、	地域に根 [・]	づい	ており、時代に	マッチした企画	運営	をし	r)台	でルチ	<u.,< td=""><td>に用して「</td><td>· Cu '0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></u.,<>	に用して「	· Cu '0						
	委員指摘	員会 i事項																			

	No. 40 —	6 基本事務事	業名 八中	番公民	館企画	軍営事業	事務事業	業名 地	或ふれあい事業		公的関与	3 シ	一卜作成日 📑	平成23年	6月6日
	部局名	教	枚育委員	会		課名	公民的	馆	主務課長	名	井上雅夫	シー	-ト作成者名	大	村浩子
	事業区分	● 1 ソフト	事業		○ 3 経	常的事務事	業 〇	5 補助:	金•負担金•支	援 🗼	業運営方法	/ 1 直	営	3 全	:部委託
	争未凸刀	○ 2 ハード	事業		○ 4 施	設の維持管理	理	6 内部	管理事務・その)他	未建呂力広] 2 —	-部委託 [4補	i助等
		基本構想(政							実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施			学習の充			<u> </u>	• #/-	平					設定なし
		主要施策	(5)	特色を	5る生涯等	学習プログラム	の整備・抽	是供 🔘	2 非該当	根	拠法令等 社	会教育	法 阿波市公民	:館条例	
		対象(誰を、 何を)	八幡老人	ヘクラブ	会員・八	幡第一保育所	児童・八幅	番幼稚園!	児						
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	少子	高齢化の	中で幅広い年	齢層に、個	▶験学習	や発表会の機会	を提供し ⁻	てふれあいを深め	ていき	ます。		
PL		たいのか)	今年度												
A						か。(主なもの		で)							
N)ふれあい交流									
	事業の	_						運動会・	クリスマス会・も	ちつき大会	会)				
	活動内容		園児と高	齢者と	:の交通多	そ全キャンペー	ン								
		4													
		5	h	1 = 1 /2/2		ᄼᆂᇑᆌᇝᄼᅼᇽᄙᆠ	<u> </u>	Ī		<i></i>	TI # 00 #	· #		- d-	
		指標名	<u> </u>	計昇	九又は抗	i標設定理由	単位	目標	平成 21	<u>年度</u> 80	平成 22 年	· <u></u> 80	平成 23 年	<u>中度</u> 70	最終目標
	数値目標	ふれあい交流	充会	1回	80人		人	実績		68		65		-/0	
	(事業の目的 及び活動内							目標		300		300		300	
	容の達成度	ふれあい体質	倹事業	4回	75人		人	実績		294		290			
	を測る指標)		2 .	İ	1			目標		50		50		50	
		交通キャンペ	ベーン	1回	50人		人	実績		45		45			
	予算費目	会 計		_	-般会計		款	10 教育	育費	項	5 社会教育	ŧ	目 3 2	公民館費	Į
				· 成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23 年度	予算		備考	
		国庫支出				千円			千円			千円			
		県 支 出	金			千円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円			
DO		その他特定原一 般 財				千円			千円		-	千円			
		一般財計(A)	源			4 千円 4 千円			11 千円 11 千円			0 千円 <mark>0</mark> 千円			
		正職員工数:	経費 0	.200		1,257 千円	0.200	,	1,225 千円	0.200		9 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		00 ,	/\	1,207	0.200	<u> </u>	1,220	0.200	7,20	111			
		臨時·嘱託工数·		.000	.	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	X	0 千円			
		業費(A+B)			-	1,261 千円			1,236 千円			9 千円			

				チ:	ェック項目					_	·次評(西		_	-次評価(の説	明		二次	評価	ā
		1.					、確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大き	U	少子高齢 間との交	化してい 流は、ふ	る中、 れあい	異世代 を深め	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政が	状況の中、次年	年度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		る事業と	して必要で	ごす 。		0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなって		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いない	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	را ا	いえる	3	事業内容	も豊富でとの和を	あり、	児童と地	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえない	۱ •	いえる	3	して有効				0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で	領似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	lı					0	する	•	しない
CHUC		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	待で	ぎきない。		0	できなし	<i>y</i>	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る	参加者に	は、とても	好評	です。	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果が	あまり上が	うて	いないと思う	0	0	あまり上	こがってし	いない						0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目れ	票を達成し	てい	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してし	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストが高い	, \ ₀				0	高い	0	適当	í	経済面か	らみても 率性は高			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	体のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	ない	事未 の <i>別</i> .	一円には同] U · C	9 0	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係・	で、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更:	などにより	コス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
					_	次評	価				_				=	次評	価				
	評値	三点	必要性	有効性	達成	茰	効率性	総合評	<u>'</u> 価		必要	性	1	与効性	達成	芰	効率	生	総	合評	価
		後の		中 4	4 伏維持		<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委託	工学			大•充	+		<u>【 4</u> ┞維持		<u>4</u> 方法改善	É		A 表	工
		句性	○ 縮小		以推行 以期設定		<u>万云以告</u> 廃止/休止	○ 氏间安晶	1.可				<u>天</u> ()	統合/終			<u>万压以是</u> 廃止/休			少	L 寸
C	75.		ं गांध उ	O 196 E 7 1	77711272		196111 FT-11				<u> </u>)	評価での					の相違点	į	
ACT-0			事業がマンネ るような企画!			容を	工夫し地域に習	密着した事業 <i>の</i>	展開	 とな	挂标			して下さい							
N	と3 計	画					多様化し高度化 こ努めていきま [、]		·ら、:	ニれ	1月1型	н J'	< 11.6. €	.00120	· · · o						
	委員指摘	員会 i事項																			

	No. 40 —	7 基本事務事	業名八幅	番公民館生	活文化振興	事業	事務事業	業名 各	種団体の育成		公的関与 9	シ	一卜作成日 平成23年	₹6月6日
	部局名	教	育委員:	숲	課名		公民館	官	主務課長	名	井上雅夫	シー	-ト作成者名 大	村浩子
	事業区分	● 1 ソフト事○ 2 ハード			3 経常的事				金・負担金・支		業運営方法	1 直		部委託
				_	4 施設の維	付官巧	E U	여신이	管理事務・その	71世				脚等
	総合計画	基本構想(政基本計画(施		人が輝くる) 生涯学習					<u>実施計画</u>)1 該当	平	成年~		iの開始・終了 <mark>成 年 ▽ 期間</mark>	
	松口引四	主要施策) 生涯子官					<u>)」該ヨ</u>)2 非該当					放化なし
		土安旭東	(6)	用的作品	107月以			C	2 非該ヨ	们		云钗月	法 阿波印公氏结末例	
			市内住民	民(一定区均										
		目的(どうい う状態にし	最終的	老人クラブ助をします	ブ、婦人会、各 す。	種講座	医等に積	極的に参	┊加し、教養の増	進、生活文	て化の振興、社会	福祉の	向上のために自主的活	動ができる補
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの				なもの	5つまで	で)						
N		① 成人講座												
	事業の										も見守り隊事業			
	活動内容										5動、日赤奉仕団	活動等	;)	
		O 1 1 1 1	クラブの	連絡∙調整	(詩吟・カラオケ	ァ・生け	花・パッ	チワーク	・ちぎり絵・阿波	踊り体操等	})			
		5		1=1 66 -6 =		-m -L [VV 11		T		T - 1 - 2 - 1	_		
		指標名	<u> </u>	計算式人	ては指標設定	埋田	単位		平成 21		平成 22 年		平成 23 年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	成人講座参加	□者数	4回	50人		人	目標 実績		210 190		200 190	200	
		老人クラブ事	業参加	34回	20人		ı	目標		700		680	680	
	容の達成度	者数		34凹	20人		人	実績		680		670		
		各種趣味クラ	ブ参加	13団化	▶ 50人		人	目標		610		600	600	
		者数						実績		603		596		
	予算費目	会 計			会計		款	10 教		項	5 社会教育費		目 3 公民館費	₹
				·成 2	1 年度決		平成	22	年度決算	平成	23 年度		備考	
		国庫支出				千円			千円			千円		
		県 支 出	金			千円			千円			千円		
D	直接事業費	<u>地 方</u> その他特定則	債 t酒			千円 千円			<u>千円</u> 千円			千円 千円		
O		<u>ての他特定型</u> 一 般 財	<u> 源</u> 源		185				112 千円		97	7 千円		
		<u></u> 計(A)	加水		185				112 千円			/ 113 <mark>7</mark> 千円		
		正職員工数・総	径費 0	.500 人	3,142		0.500	人	3,063 千円	0.400		3 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			- 5,172		2.200	- \	2,230	2.100	_,,			
		臨時·嘱託工数·		.000 人	0	千円	0.000	人	0 千円	0.000	人) 千円		
	全体事業	業費(A+B)			3,327	千円			3,175 千円		2,695	5 千円		

						ック項目					_	次評価	T			-次評価				二次	評価	ī
		1.						確保できる等 響は大きくな		0	少ない	•	大き	い	化づくりの	り、仲間つ ひ拠点とし	て、主	E体的、	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政が	状況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	!められない。	0	ない	0	ある			参加、活要性は高			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のため	かに、3	現在の手具	没、プ	ち法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない			女はは同じ	4.) C	いみり。	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーヒ				隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いなし	l,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するが	こめに.	、事業内容	容が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	۰/ O	いえる	3	各種団体	なが自主的 活動内容	に各	種事業を	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化な	ど、旅	逆策への 貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえなし	۰ O	いえる	3	活発に活	動してお			0	いえない	•	いえる
C	姓	3.	市が実施する	施策のロ	中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	0	しなし	۸,	いです。				0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	としても原	世果の きんきん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	向上が期	待で	きない。		0	できなし	۰,	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進掘	步状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	片ってい	<u>る</u>		、達の輪か なも多く、 H			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成身	見があ	まり上が	って	いないと思う	0	0	あまり上	がってし	いない		ます。	(051, 1	刀圧	11X,C C 0 .	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概∤	a目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してに	る						0	概ね達成	してい	<u>გ</u>
	ļ	4.	目標設定に対	して十分	かに目:	標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してに	いる						•	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	こコストだ	が高い	0				0	高い	•	適当	i		女・団体数 れています		、効率良	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウ/	ヽウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できた	ない	(人)位制で	11 (11)	0		0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	力方法の変	変更な	どにより	コス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
						_	次評	価								=	上次評	価				
	評値	三	必要性	有効	性	達成原	隻	効率性	総合評	価		必要	性	存	与効性	達成	度	効率	生	総	合評	価
	△ %	後の	4 ○ 拡大·充	4 	 現状	4 ·維基		4 方法改善	A ○ 民間委i	千笙		<u>4</u>)拡:	大・充	宔		<u> 4 </u> 犬維持		4 方法改善	É	○ 民間	A 表記	 £笑
Α		り性	○ 縮小	-		期設定		廃止/休止	〇 民间安市	<u> </u>					統合/終			<u> </u>		O IXIF	1350	L 47
AC			- 11H	9 1,707		,,,,,,,,		<i>,,,,</i> ,,, ,,				9 1111	_	二次)指摘事				の相違点	į	
T-0	当課		年々経費も削 活動にも対応				であり	り利用者のニー	−ズ、また新しい	ハクラ	ブ	江田	±	+亞 L	白土海兴	指導が必	声です	l-				
N			限られた経費	内で、現る	生の活	動が維持	でき	るように対応す	る必要があり	ます。		/白罗	シン 又	.]反C	日工選呂	田寺小心	女 C ?	0				
		€会 事項																				

	No. 40 —	8 基本事務事	業名 八帕	公民館 加	拖設管理事業		事務事第	業名 公.	民館施設管理	事業	公的関与 6	シー	一卜作成日 平成23	年6月6日
	部局名	教	育委員:	숲	課名		公民館	官	主務課長	名	井上雅夫	シー	-ト作成者名 フ	ト村浩子
	事業区分	○ 1 ソフト事 ○ 2 ハード			3 経常的事系 4 施設の維持				金・負担金・支 管理事務・そ <i>0</i>		業運営方法			全部委託 補助等
		基本構想(政				, , ,		O 1 1 H	実施計画				の開始・終了	1111-25 1
	総合計画	基本計画(施		生涯学習) 1 該当	平	成 年 ~			間設定なし
	107111	主要施策			<u>関連施設の整</u>	備充写	実•機能引) 2 非該当				法 阿波市公民館条例	
		対象(誰を	市内住民		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, MII 7 G 7	12000		_ ,, ,,,,	15				
		目的(どういう状態にし	最終的		学習の拠点と 理を図ります。	して、生	主活文化	の振興、	社会振興の増え	進に寄与す	「ることを目的に設	置し、	利用者が安全で快適に	活動できるよう
PL			今年度											
A		具体的にどの				なもの)5つまで	で)						
N		① 公民館貸	し出しのi	車絡調整事	事務									
	事業の	② 電気保安												
	活動内容	③ 消防設備												
		④ 浄化層の												
		⑤ 公民館の												
		指標名	<u> </u>	計算式又	(は指標設定)	理由	単位		平成 21		平成 22 年月		平成 23 年度	最終目標
	数値目標	開館日数		開館日数	359日		人	目標		359		359	359	9
	(事業の目的							実績		359		359		
	谷の连戍及	利用団体数		阿波踊り	体操 他17		クラブ数	目標 実績		22 22		18 16	1	0
	を測る指標)							目標						
								実績						
	予算費目	会 計			会計		款	10 教		項	5 社会教育費		目 3 公民館	費
				·成 2	1 年度決	:算	平成	22	年度決算	平成	23 年度	7算	備考	
		国庫支出				千円			千円			千円		
		県 支 出	金			千円			千円			千円		
	直接事業費	<u>地 方</u>	債			千円			千円			千円		
D		その他特定則				千円			5 千円		1 112	千円		
0		一般財	源			千円			1,837 千円		1,419			
		計(A) 正職員工数·約	文弗 0	200 1		千円	0.200	1	1,842 千円 1,225 千円	0.000	1,420			
	人件費(B)	止碱貝工剱·科 臨時·嘱託職		200 人	1,257	千円	0.200	<u>۸</u>	1,223 十円	0.200	人 1,209	十円		
		臨時·嘱託工数·	経費 0.	000 人	0	千円	0.000	人	0 千円	0.000	人 0	千円		
	全体事業	業費(A+B)			2,777	千円			3,067 千円		2,629	千円		

							ック項目					_	·次評值	T			一次評	価の説	胡		二次	評値	<u> </u>
		1.							[、] 確保できる等 u響は大きくな		0	少ない	•	大き		域住民	きにとって	-施設で はなく	きあり、地 てはならな	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	状況(の中、	次年	度以降実	€施す	る緊急性が認	められない。	0	ない	0	ある		い存在	Eです 。			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上	のため	に、	現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ 上回るサー						治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	•	いない	۸,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現	するた	めに	、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	ı o	いえる	3				主事業等 b性は高い	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマ	ンネ!	丿化な	ど、旅	亜策への 貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	v 💿	いえる	3	です。	が立光で	のり有み	川土は向い		いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施す	る施領	乗の中	で類	似・重複	夏した	- 事務事業が存	在する。	0	する	0	しなし	۸,					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続	をして	ても成	果の	向上が期	得で	ごきない。		0	できな	v O	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に	対して	て進捗	状況	が劣って	こいる	と思う。		0	目標に	比べて貧	らってい	る		通じ使用		ので目標	0	目標に比	べてま	らっている
	達	2.	目標設定に	対して	て成果	があ	まり上か	うて	いないと思う	0	0	あまり」	こがってし	ない		连队及	ないので、	C 9 o		0	あまり上か	ってし	ない
	成度	3.	目標設定に	対して	て概ね	目標	を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	成してい	いる						0	概ね達成	してに	る
	-	4.	目標設定に	対して	て十分	に目	標を達成	tして	いると思う。		•		成してに							•	十分達成	してし	いる
		1.	効果に比べ	てコス	ストが	高い	0				0	高い	0	適当					めて、委託 賞契約を		高い	•	適当
	効	2.	他の実施主	体のノ	ノウハ	ウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	はい	し、経	費の節約	につと	め維持管		できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員	と成り	果の関	係で	、実施手	段等	まを見直す余地 かんりょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	oがある。	0	ある	•	ない		埋をし	ており有	効性は	高いです。	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契	約方法	去の変	更な	どにより	リコス	く ト削減の余地	がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
							_	次評	严価									二次	評価				
	評値	甲	必要性	;	有効性	生	達成	度	効率性	総合評	価		必要	性	4	対性	達	成度	効率	性	総	合計	平価
	△ ½	を の	4 ○ 拡大・3	<u> </u>	4	担仆	4_ :維持		<u> 4 </u> 方法改善	○ 民間委記	1笙		<u>4</u>)拡:	大・充	宇	4 ① 功	 見状維持	<u>4</u> ∷ ⊜	<u>4</u> ○ 方法改			A 引表:	 托等
A		句性	○ 縮小				期設定	0	廃止/休止	〇 以间安市	<u></u>				$\overline{\bigcirc}$		終期設					13 💢	10 47
C				U	100 E	17 11 2	771127		<i>1</i> 50				<u>С 1114</u>	_)				び一次記		の相違点	į	
ACT-O		面の !題	施設も修繕こ	が快適(用できるようにエ	見状維持してい	きま	す。	利田	わす!	、白が	ス <u>ナ</u> い晋 fi	竟に努め	ア下士	\								
N	と事 計	画	統合・縮小し	ない『	限り、耳	見状維	 É持が好る	ましい	 \です。				חתנייה	90	· IX X	1 'ひ-杯り	元(こ力び)	C 1 60	· o				
	委員指摘	員会 i事項																					

	No. 40 —	9 基本事務事業名	8 市場公民	民館企画	運営事業	事務事業	業名 文化	化ふれあいフォ	ーラム	公的関与 8	シート	作成日 平成23年	F6月1日
	部局名	教育	委員会		課名	公民館	官	主務課長名	ጟ	井上 雅夫	シート作	成者名 岸	上隆
	事業区分	1 ソフト事業2 ハード事業			圣常的事務事 施設の維持管			金・負担金・支達 管理事務・その		¥ -	1 直営 2 一部委		:部委託 助等
		基本構想(政策	•			± ∪	O P J LIP	実施計画	7 165		事業の開		1691 41
	総合計画	基本計画(施策		学習の			0	1 該当	平		平成	年 <mark>✓ 期間</mark>	設定なし
	WO LINE	主要施策			<u>/に入</u> 学習プログラム	の整備・‡						可波市公民館条例	12 A C -
		計争(強な	方内園児・小		<u> </u>		ZIN O	2 9 10 3	120		- A-17		
					行している中、 [・] ⁄ョンを図ります		て子ども	達の夢や創造:	力、感性を	豊かにすると共に新	見子並びに	二友達との	
P L			·年度										
A		具体的にどのよ											
N		① 市内幼稚園、											
	事業の)	団の人が道.	具等を実際	際に触れさせて	くれる体験	食学習を	開催。					
	活動内容	3											
		4											
		5	1=1 /2	* - L 1 I I		337.7.1		T	<u></u>				
		指標名	計算	『式又に『	指標設定理由	単位		平成 21		平成 22 年度		F成 23 年度	最終目標
	数値目標	参加者数	1 🛭	回 100	人	人	目標		100		100	100	
	(事業の目的						実績 目標		95		108		
	及び活動内 容の達成度						実績						
	を測る指標)						目標						
							実績						
	予算費目	会 計		一般会計	+	款	10 教育		項	5 社会教育費		目 3 公民館費	
			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23 年度予	算	備考	
		国庫支出金			0 千円			0 千円		0	千円		
		県支出金			0 千円			0 千円		0	千円		
	直接事業費	地 方 債			0 千円			0 千円			千円		
D	但该于木具	その他特定財源			0 千円			0 千円			千円		
0		一般財源	原		228 千円			200 千円		193			
		計(A)	# A A A F		228 千円	2.22		200 千円	2 / 25	193			
		正職員工数·経費		人	1,257 千円	0.200	人	1,225 千円	0.100	人 604	千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種 臨時·嘱託工数·経費			0 千円	0.000	1	0 千円	0.000	1 0	千円		
	全休事	^{臨時・嘱託工数・程} 業費(A+B)	a 0.000	<u> </u>	1,485 千円	0.000	<u> </u>	1,425 千円	0.000	797			
	土件书	末貝(AID)			TD			1, 4 20 TD		191	1 [7]		

				チュ	ニック項目					_	·次評(西		_	-次評価	の説	明		二次	:評価	5
		1.					、確保できる等 〈響は大きくな		0	少ない	•	大き	ŧ۱۱	や感性を	演が子ど ·豊かにし	、ふれ	あいを	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政が	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		深める事 です。	業として	必要性	は高い	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない	١	C 9 .				0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	:L\					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	v O	いえ	.a	内容も豊の子ども	富であり、達との和る			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえな	۱, O	いえ	.a		対性は高い			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しな	い					0	する	•	しない
CHUC		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できな	v o	でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る		は、大変 ています。		で目的を	0	目標に比ん	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり」	こがってし	いない		達成で2	(6,2,4))		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してし	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストが高い	N _o				0	高い	0	適当	¥	親子のふ	、れあいの 1者数も多			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウ	か新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	でき	ない	高いです		ヾ゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙	が出る	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
					_	次評	価								_	.次評	価				
	評値	引	必要性	有効性	達成原	芰	効率性	総合評	′価		必要	性	1	与効性	達成	度	効率	生	総	合評	価
		後の		<u> 4</u> E実 ⊙ 現丬	4		4 方法改善	A ○ 民間委i	工学		<u>4</u>	大・充	<u> </u>	4 ● 現物	<u> 4 </u> 犬維持		4 方法改善	É		A 目表:	1年
		り性	○ 縮小			0	廃止/休止	〇 民間委託	1.可		○ 拡: ○ 縮:			<u>↓ </u>			<u>万云以</u> 廃止/休			少	L Ţ
A	751	, , _	○ 1110 · 1		(/V) IIX /C		光 亚/ 叶亚				<u> </u>	•)	評価での					の相違点	į	
ACT-				リ化しないよう うな企画に努 <i>め</i>			□夫し地域に密 はいます。	着した事業の						, <u>u </u>	111111111		<u> </u>	<u> </u>	THE PARTY OF THE P	•	
0	74-1	+ =									現状	での絹	継続を	して下さい	,١,						
	以上計						高度化している いきたいと思い														
	委員指摘	員会 事項																			

	No. 40 —	10 基本事務事業	名 市場公民	民館企画道	運営事業	事務事業	業名 ガー	-デニング教室		公的関与 8	シート作成日 平	成23年6月1日
	部局名	教育	育委員会		課名	公民館	涫	主務課長名	<u>ጟ</u>	井上 雅夫	シート作成者名	岸上 隆
	事業区分	1 ソフト事業2 ハード事	•		常的事務事 設の維持管			金・負担金・支管理事務・その			直営	」 <mark>3 全部委託 ☐ 4 補助等</mark>
	総合計画	基本構想(政策 基本計画(施策 主要施策	<mark>)</mark> (2)生涯	学習の充		の整備・‡		実施計画 1 該当 2 非該当	平月根	或 <mark>年~</mark>	「業の開始・終了 <mark>平成 年</mark> な育法 阿波市公民館	/ 期間設定なし 館条例
		计争(张大	市内住民	, o, o = , , , ,		TE MIN 3.		- 7127-		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
		目的(どうい ^最 う状態にし	と ガー	-デニングを	通して花いっ	ぱい運動を	を広げて、	(住民の交流と)	心豊かな人	、づくりの機械を提供	しふれあいを深めて	いきます。
PL		たいのか) 🧁	7年度				- 1					
A		具体的にどのよ				か5つまで	で)					
IN	声类の	① 講師を招い			(年3回)。 2有線テレビ放	ᅷᆇᆂᆌ						
	事業の 活動内容	② 受講生募集③ 材料費用は				.达寺を削	ж.					
	70 30 70 70	(4)	文碑工が主	一般大貝貝?	EC9 0.							
		<u>(5)</u>										
		指標名	計算	算式又は指	i標設定理由	単位		平成 21	年度	平成 22 年度	平成 23 年	度最終目標
	数値目標	参加者数	31	回×30人		人	目標		80		90	70
	(事業の目的	多加百奴	٥١	<u> </u>			実績		66		57	
	及び活動内						目標					
	容の達成度 を測る指標)						実績 目標					
							実績					
	予算費目	会 計		一般会計		款	10 教育		項	5 社会教育費	目 3 公	民館費
			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23 年度予算		備考
		国庫支出金			0 千円			0 千円		0 Ŧ	·H	
			金		0 千円			0 千円		0 Ŧ		
	直接事業費		責		0 千円			0 千円		0 =		
D		その他特定財法			0 千円			0 千円		0 +		
0		一般財 計(A)	原		107 千円 107 千円			100 千円		68 1		
		正職員工数・経	費 0.200	1	1,257 千円	0.200	1	1,225 千円	0.200	人 1,209 千		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種		<u> </u>	1,201	0.200	<u> </u>	1,220	0.200	1,209		
		臨時·嘱託工数·経		人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	人 0 年	· 円	
	全体事業	業費(A+B)			1,364 千円			1,325 千円		1,277 T	·円	

						ック項目					_	-次評(西				平価の詞			二次	(評估	<u> </u>
		1.						^ヾ 確保できる等 シ響は大きくな		0	少ない	,	大き	U	りの交	を流の場	の確保を	り、仲間づく を図る面か	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中	、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	められない。	0	ない	•	ある		ら必要	要性は高	まってい	きす。	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の同	句上のた	めに、	現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ				隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	•	いな	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を調	実現する	ために	、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	い (いえる	გ				業が定着し 内容も豊		いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化な	よど、別	施策への 貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	ぃ ⊙	いえる	<u>გ</u>		んき技品 あり有効!			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の	中で類	似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	۱,					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても	成果の	向上が期	待で	ごきない。		0	できな	ι (できる	3					0	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	して進	捗状況	が劣って	いる	らと思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る				広がってお 十分達成で		目標に比	べて劣	らっている
	達	2.	目標設定に対	して成	果があ	まり上が	うて	いないと思う	0	0	あまり_	上がってl	いない			います。	0911	1 万 连 从 🤇	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概定	ね目標	を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	る
	-	4.	目標設定に対	して十分	分に目	標を達成	えして	いると思う。		•		を成してし							•	十分達成	してし	いる
		1.	効果に比べて	コスト	が高い	0				0	高い	0	適当	i				ロ率も高く、 であり効率		高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウ	ハウや	新たな制	痩を	活用できる。		0	できる	•	できた	ない		言いです		このりが子		できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の	関係で	、実施手	段等	まを見直す余地 かんしゅう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	ヹがある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	」方法の	変更な	どにより	ーコス	く ト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						_	次評	严価									二次	評価				
	評値	正点	必要性	有効		達成	芰	効率性	総合評	<u>'</u> 価		必要	性	7	有効性	ì	達成度	効率	性	総	合計	平価
	△ ½	を の		宝宝 6		4 ÷維蛙		<u> 4 </u>	A ○ 民間委詞	1笙			大・充	<u></u>	<u>4</u>	_ 見状維持	4 持	<u>4</u> 〕方法改			A 引表:	 托等
A		句性				期設定	0	廃止/休止	〇 以间安市							/ 終期 設	_			O KIR	130	10 47
C			O WILL S	الراب		///IIX/C	U	<i>35—7</i> 11—				О ПП		\sim				び一次記		の相違点	į	
ACTIO			事業がマンネ展開となるよう			E夫し地域に密 はいます。	着した事業の			- - 7	`がタ/	法标	56777周	昇催をして	て下さい							
N	と事 計	画	新しい時代に	マッチした	と事業	 内容の充	実に	努めていきます	0			_ ^	. W. D.	(1)	ᄠᆈᄁᄼᄉᆝᅔ	TIECU	C I GU	•				
	委員 指摘	員会 事項																				

	No. 40 —	11 基本事務事	業名 市均	易公民館企	と画運営事業	事務事	業名 各種	重団体の育成		公的関与 9	ノート作成日 平成23年	年6月1日
	部局名	孝	故育委員	숲	課名	公民:	館	主務課長	3	井上 雅夫 シ	ート作成者名	上 隆
	事業区分	● 1 ソフト		0	3 経常的事務署	事業 〇	5 補助	金•負担金•支	援			全部委託
	争未区力	O 2 11-1			4 施設の維持領	管理	6 内部	管理事務・その)他	2	一部委託 ☑ 4 裈	亅
		基本構想(政						実施計画			美の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施		生涯学習				1 該当	平月	•	<mark>在 ✓ 期間 年 ✓ 期間 </mark>	設定なし
		主要施策	(6)	関係団体	の育成			2 非該当	根	拠法令等 社会教育	育法 阿波市公民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市内住戶	民(一定区域	战内)							
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	市民の教	教養の向上、生活	5文化の振り	興、健康埠	增進、社会福祉 <i>σ</i>	向上のた	めに自主活動ができる	補助をします。	
PL		たいのか)	今年度									
A					ますか。(主な :	もの5つま	で)					
N		① 老人クラ		業								
	事業の	② 婦人会育										
	活動内容	③ 各種講座										
		_	活動事業	(ゲートボー	-ル、グラウンド=	ゴルフ等)						
		5	b	11147	1.4比+=3.00-1111			<u>₩</u> # 04	左曲	亚芹 00 左连	工式 00 左连	目幼口柵
		指標	<u> </u>	計昇 八 又	は指標設定理は	由 単位	目標	平成 21	<u>年度</u> 350	平成 22 年度 320	平成 23 年度 320	最終目標
	数値目標	老人クラブ参加者	数	16回×	20人		実績		305	298		
	(事業の目的 及び活動内						目標		310	320		
	容の達成度	婦人会事業参加	者数	16回×	20人		実績		292	288		
	を測る指標)	<i>₽ 1</i>	kt_	оп/ 			目標		250	270		
		各種講座参加者勢	₹X	9団体×	30人		実績		238	225	5	
	予算費目	会 計			会計	款	10 教		項	5 社会教育費	目 3 公民館費	
				7成 2		_	22	年度決算	平成	23 年度予算	備考	
		国庫支出			0 +			0 千円		0 f F		
		県 支 出	金		0 +	_		0 千円		0 f F		
D	直接事業費	<u>地 方</u> その他特定!	債		0 1			0 千円		0 千P 0 千P		
O		一般財	源		373 ∓			350 千円		367		
		計(A)	//示		373 ∓ 373 ∓			350 千円		367		
		正職員工数:	経費 1.	.000 人	6,283 ∓		7	6,126 千円	0.200	人 1,209 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託耶		/\	-,	7.000	- · ·	,		.,		
		臨時·嘱託工数		.000 人	0 千	円 0.000	人	0 千円	0.000	人 0 千円	i	
	全体事業	業費(A+B)		•	6,656 千	円		6,476 千円		1,576 千円	1	

				チェ	ック項目					_	·次評·	価			一次	(評価)	の説り	明		二次	(評估	<u> </u>
		1.		なくても、公平 <u>事業を廃止・</u>					0	少なし	()大	きい	点とし	して、主	体的·	自主的	くりの拠 内に参加	0	少ない	•	大きい
	必	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•) a	る	し活動	動できる	事業で	であり	公民館	0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手	段、力	ち法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	りな	il)	高い	9の─⁻ です。	-人は	司(火	要性は	0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	い	ない						0	いる	0	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内	容が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	い	い	える					ないよう	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、)	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえな	い) l	える		です。	= C Im	<i>19</i> 103	ス団バスで	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で類	類似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•) L	ない						0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	をしても成果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	い	ੇ で	きる						0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	ぴ劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣って	ている					つつあり }達成し	0	目標に比	べて劣	らっている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	まり上が	うて	いないと思う	0	0	あまり.	上がって	いなし	۸,		も 0.47 ます。	L C03) I).	圧成し	0	あまり上か	ってし	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成して	いる							0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分に目	標を達成	えして	いると思う。		•	十分達	を成して	いる							•	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い		0	高い	•	〕遃	当		状況も 〈効率よ			川用者数	0	高い	•	適当			
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•) で	きない	す。	、刈牛み	- 1 7 3 3	C11	(6.4	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係で	゚゚゚ゕ゙ある。	0	ある	•)な	il١						0	ある	•	ない			
		4.	電子化や契約	的方法の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	•)な	ili						0	ある	•	ない
					_	次評	•										次評	-				
	評化	西点	必要性	有効性	達成原	茰	効率性	総合評	[価		必要		7	有効性	ŧ	達成		効率'	性	総	合計	呼価
	今往	多の		│ 4 E実	<u> </u>		4 方法改善	A ○ 民間委託	千筀				<u> </u> 充実	4	<u>_</u> 現状維			4 方法改	<u></u>		A 引委	千等
Λ		句性	○ 縮小	○ 統合/終			<u> </u>	O POINT OF							/終期			廃止/休		0 201		
C													二次				頁及(ゾー次評	価と	の相違点	Ī.	
ACTIO		面の問題		であり利用者の 自立した活動が		O	2:	手動の	支垤	シ白士	雷骨t	指導がず	X 亜 で・	1 -								
N	وع	革案 実行 ·画		費内で、他の公 ように対応してい				在の活動が			<u></u>	人]反	COI	走 百]	□ (す ル、%	·安 C	7 0					
		員会 事項																				

	No. 40 —	12 基本事務事	業名 市場	易公民館企	:画運営事業		事務事業	業名 公	民館施設管理	事業	公的関与	6 シ	ート作成日 平成23	年6月1日
	部局名	教	育委員:	会	課名		公民館	官	主務課長	名	井上 雅夫	シー	−ト作成者名	岸上 隆
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事				金•負担金•支		業運営方法	✓ 1 値		全部委託
	于不匠刀	○ 2 ハード			4 施設の維持	寺管理	里	6 内部	管理事務・その)他 The second of the second	术是日乃丛			補助等
		基本構想(政							実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施		生涯学習					1 該当		成 年		成 年 🗸 期間	
		主要施策	(2)	生涯学習閱	連施設の整	備充	実∙機能引	鱼化 <mark>●</mark>	2 非該当	植	見拠法令等 へんきん	t会教育	f法 阿波市公民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市内住民	;										
		目的(どうい う状態にし	最終的	地域生涯 持管理を図		点とし	て、生活	文化の扱	長興・社会振興 <i>σ</i>	り増進に寄	「与することを目	的とし利	用者が安全で快適に活	用できるよう維
PL			今年度											
A		具体的にどの	ような活	5動を行い	ますか。(主	なもの	05つまで	で)						
N		① 公民館貸		調整事務										
	事業の	② 電気の業												
	活動内容	③ 消防施設												
		④ 浄化槽の		業務										
		⑤ 館内外清		I = 1 &		-m				, _				
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定	埋田	単位		平成 21		平成 22 年		平成 23 年度	最終目標
	数値目標	開館日数		年間	359日		日	目標 実績		359 359		359 359		
	(事業の目的 及び活動内							目標		12		12		
	容の達成度	利用者団体数	攵	生花クラフ	ブ他6		クラブ数	実績		7		7		
	を測る指標)							目標						
								実績						
	予算費目	会 計		一般的			款	10 教育		項	5 社会教育		目 3 公民館費	
				成 21			平成	22	年度決算	平成	23 年度	予算	備考	
		国庫支出				千円			0 千円			0 千円		
		県 支 出	金			千円			0 千円			0 千円		
	直接事業費	<u>地 方</u>	債			千円			0 千円			0 千円		
DO		その他特定則				千円			0 千円			0 千円		
U		般財計(A)	源		826 826	千円			786 千円 786 千円			28 千円 38 千円	-	
			及費 ∩	400 人	2,513		0.400	1	2,450 千円	0.500		22 千円	1	
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			2,010	113	0.400	八	۷,۳۵۰ ۱۱۱	0.000	7, 0,02	111		
		臨時·嘱託工数·		000 人	0	千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円		
	全体事業	業費(A+B)			3,339				3,236 千円			60 千円		

				チュ	ロック項目					_	·次評(西		_	-次評価(の説	明		二次	:評価	5
		1.					で確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	•	大きし	い	研修会・ 的利用の	学習会・発)施設とし			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	F度以降 実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		利用者もす。	多く必要り	生は高	いで	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない		9 。				0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってい		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いなし	l,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内	容がず	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	۱, O	いえる	3	趣味クラ	ブ等の利息 ているたる			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	シネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえない	۱ •	いえる	3	いと思い		OHN	リエルロ	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	6施策の中で数	類似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	۸,					0	する	•	しない
CHUC		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できない	<i>γ</i>	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	<u>る</u>		団体の会			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり上	_がってし	いない			されてい			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してい	いる						•	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	こコストが高い	,۱۰				0	高い	•	適当			合補償契 館と一括			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	*のノウハウ*	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	はい	とにより割	割安に加え	した	り、経費	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない			努めるこ。 されてい		り効率	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更な	などにより	コス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						次評					•			•		次評	価				
	評値	耳	必要性	有効性	達成	种	効率性	総合評	′価		必要	性	7	有効性	達成	芰	効率	生	総	合評	価
		後の	4 ○ 拡大·充	<u> 4</u> E実 ● 現料	4		<u> 4 </u>	A ○ 民間委託	工学		<u>4</u>	大・充	<u> </u>	4 ┃	<u> 4 </u> 犬維持		<u>4</u> 方法改善	É		A 『委記	1年
		をいりて			以推行 以期設定		<u></u>	〇 民間委託	[1]		○ 拡: ○ 縮:			<u>↓ </u>			<u>万法以表</u> 廃止/休]安市	7 守
A	751	, i_			1/11DX /C		况业/ 杯亚				<u> </u>	_)	評価での					の相違点	į	
ACT-0			利用者が安全 要です。	È・快適に活用	できるよう	こ、備	情品等が古くなっ	っているので整	備が		א וווו			子な環境に						<u> </u>	
N	と3 計	画	管理運営上、	館内外の施設	改善の必要	要がも	あります。				IJΠU (- 7 0 '	, _{IX} x	小小水水流	- 3 07 CN		ō				
	委員 指摘	員会 事項																			

	No. 40 —	13 基本事務事	業名 大俣仏	公民館企 回	画運営事業	事務事	業名 自	然観察会		公的関与 8	シート作成日 平成23	年6月10日
	部局名	教	育委員会		課名	公民的	館	主務課長	各	井上雅夫	ート作成者名 ジ	í藤春夫
	事業区分	① 1 ソフト事			経常的事務事			金・負担金・支		辛 - 由 '言' <i>'</i> - '王		全部委託
		○ 2 ハード			施設の維持管	・ 理	6 内部	管理事務・その)他	2		補助等
	60 A =1	基本構想(政						実施計画			業の開始・終了	n - n / .
	総合計画	基本計画(施		涯学習σ		+) 1 該当	平		平成 年 ✓ 期間	
		主要施策	(5)特	色ある生涯	重学習プログラ.	ムの整備・	提供 <mark> し</mark>	2 非該当	极	拠法令等 阿波市	公民館条例、社会教育法	
		対象(誰を、 何を)	市内小学生	•保護者								
		目的(どういう状態にし		引子で自然 ます。	にふれあい、自	然の中での)発見や原	感動を感じてもら	い、観察会	会を通じ自然を大切に	する心を養うことで自然環	環境の保全を図
PL			今年度	業内容の	充実を図ります	o						
A		具体的にどの										
N		0			紙を配布し募集	集しています	t 。					
	事業の	② 親子で参加										
	活動内容 ③ トンボ・ホタル・水生昆虫等の観察会を開催しています。 ④ その内1回は、バスを借り上げて剣山の動植物の観察会を実施しています。											
		0 1]は、バスを	借り上げて	(剣山の動植物	の観察会を	実施して	います。				
		5				1 3271				-	I	
		指標名	i Ē	†算式又に	は指標設定理は	単位	+ 	平成 21		平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標
	数値目標	自然観察会参加	加者数 40)人×5回		人	目標		320	20 25		,
	(事業の目的						実績 目標		222			
	及び活動内 容の達成度						実績					
	を測る指標)						目標					
							実績					
	予算費目	会 計		一般会	計	款		育費	項	5 社会教育費	目 3 公民館費	
			平成		年度決算	平成	22	年度決算	平成	23 年度予算		
		国庫支出	金		千F	9		千円		千日	9	
		県 支 出	金		千F	9		千円		千	9	
	直接事業費	地 方	債		千F	9		千円		千日		
D	但该事未具	その他特定財			千F			千円		千日		
0			源		252 ∓F			198 千円		220 T F		
		計(A)			252 ∓F			198 千円		220 千		
		正職員工数:紹		0 人	1,885 千F	0.300	人	1,838 千円	0.300	人 1,813 千F	T	
	人件費(B)	臨時·嘱託職		0 1	0 ===	0.000		0 ==	0.000		_	
		臨時·嘱託工数·網	栓質 U.UU	0 人	0 千F		人 <u> </u>	0 千円	0.000			
	王仲争	業費(A+B)			2,137 千F	7		2,036 千円		2,033 千日	۲	

				チェ	ック項目					—:	次評値	T		_	-次評価	の説り	明		二次	評価	5
		1.	市が実施しなく主体があり、						0	少ない	0	大きし	. `	子供のこ 大切にす	る心を養	うこと	で情操教	0	少ない	•	大きい
	必悪	2.	厳しい財政状況	況の中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	3められない。	0	ない	•	ある		育に役立あふれる				0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の向	上のために、	現在の手具	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない		のふれる		冉光.	兄かぐさ	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの位上回るサービス			隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	いる	0	いない	١					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,	いえる		参加者にさが認識				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマンス	ネリ化など、カ	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	•	いえなし	<u>۱</u>	いえる		てきてい		3. DR. 43.	±13°C	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施するが	施策の中で類	似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	0	しない	١					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続をし	しても成果の	向上が期	待で	きない。		0	できない	(できる)					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対し	して進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標によ	七べて貧	らっている		参加者も 保全して			然環境を	0	目標に比べ	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対し	して成果があ	まり上が	って	いないと思う	, .	0	あまり上	がってし	ない		め活動目				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対し	して概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		•	概ね達別	或してし	 vる		す。				0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対し	して十分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成してに	いる						•	十分達成	してい	ි
		1.	効果に比べて	コストが高い	\ ₀				0	高い	•	適当		体験活動 を各自が			隻の自覚 窓性は	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体の	のノウハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できな		計り知れ				0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と原	ず果の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約ス	方法の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					— ;	次評	価								=	.次評	価				
	評値	三点	必要性	有効性	達成原	复	効率性	総合評	価		必要	性		勃性	達成	度	効率性	生	総	合評	価
	△ 1	後の		3 実	<u>3</u> }維基	0	<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	4笙		<u>4</u>)坑:	 大•充§	≢		<u>4</u> :維持		<u>4</u> 方法改善	É	○ 民間	A 『季』	4 笙
Α.		句性		○ 統合/終			<u>万丛设吉</u> 廃止/休止	〇 民间安市	<u></u>					統合/終		_	廃止/休		O IXIF		L 47
A C			C THE S		7711272		<i>70</i> — <i>7</i> 11—				× 1114	-					ゾー次評		の相違点	į	
ACT-O			予算削減の中で す。	でどのように対	か率よく計画	画を#	たて活動してい	くか考える必要	があ	りま											
0										現	状での)維持約	継続	をしてくだ	さい。						
N	وع	草案 官行 画	参加者に人気が	があるものを言	十画している	ます。	0			50	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	> 11E 3 53 11	12.196								
		員会 事項								-											

	No. 40 —	14 基本事務事	業名 大俣	公民館生活	舌文化振興事業	業 事務事	業名 各	種団体の育成		公的関与 9 シ	一卜作成日 平成23年	F6月10日
	部局名	孝	枚育委員:	슾	課名	公民:	館	主務課長4	3	井上雅夫シーシー		藤春夫
	事業区分	① 1 ソフト		O 3	経常的事務署	事業 〇	5 補助	金·負担金·支	援 _車 士	美運営方法 □ 1 □	営 3 全	部委託
	争未区刀	○ 2 ハード	事業	0 4	- 施設の維持領	管理 〇	6 内部	管理事務・その)他 事 🤻	□ 2 -	-部委託	助等
		基本構想(政						実施計画		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施		生涯学習(С	· #71-	平月		· <mark>成 年 ☑ 期間</mark>	設定なし
		主要施策	(6)	関係団体(の育成		<u> </u>)2 非該当	根	拠法令等 阿波市公	、民館条例、社会教育法	
		対象(誰を、 何を)	市民(大作	吳区域内住.	民)							
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	各種の学習	習を通じ、文化向]上を目指し	生活向上	できるように取り	/くみを図り	ます。		
PL		たいのか)	今年度	各種の学習	習を通じ、文化向]上を目指し	生活向上	できるように取り	/くみを図り	ます。		
A					ますか。(主な :	もの5つま	で)					
N		① 老人クラ										
	事業の				7活動・料理教室							
	活動内容	<u> </u>	〔舞踊∙詩	吟・生花・カ	ラオケ[スズラン	・・大俣歌謡]大正琴•	読書会)				
		4										
		5	<i>b</i>		4.比			TI CHE OA	左曲	亚芹 00 左连		目幼口柵
		指標名	<u>Ď</u>	計昇丸又	は指標設定理(由 単位	目標	平成 21	<u>年度</u> 540	<u>平成 22 年度</u> 540	平成 23 年度 540	最終目標
	数値目標	老人クラブ参	加者数	20人×27回	1	人	実績		320	340	540	
	(事業の目的 及び活動内						目標		375	375	380	
	容の達成度	婦人会参加	者数	25人×15回		人	実績		470	480		
	を測る指標)	A 14=# 🖶 🕁 .	L= +v */-	o□#	L	T .	目標		1344	1344	1344	
		各種講座参加	川百剱	8団体×14	人×12ケ月	人	実績		2400	2400		
	予算費目	会 計		一般会	計	款	10 教		項	5 社会教育費	目 3 公民館費	
				成 21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23 年度予算	備考	
		国庫支出			千	_		千円		千円		
		県 支 出	金		千			千円		千円		
	直接事業費	地 方	債		千			千円		千円		
DO		その他特定別			47 エ			千円		千円		
U		一般財計(A)	源		47 千 47 千			48 千円 48 千円		67 千円		
		正職員工数:	経費 0	300 人	47 + 1,885 +		, l	1,838 千円	0.300	人 1,813 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			1,000	0.000	<u> </u>	1,000 111	0.000	1,010 111		
		臨時·嘱託工数·		000 人	0 ∓	円 0.000	人	0 千円	0.000	人 0 千円		
		業費(A+B)			1,932 ↑		· ·	1,886 千円		1,880 千円		

				ェック項目				— ;	欠評価	<u> </u>	_	-次評価の	の説明	月		二次	評価	
		1.	市が実施しなくても、公主体があり、事業を廃止				0	少ない	0	大きい	地域づく す。	りに欠かさ	ない	団体で	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次名	年度以降実施で	する緊急性が認	められない。	0	ない	•	ある					0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、	現在の手段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの低下がみらた 上回るサービスとなって		自治体と比較し	,てニーズを	•	いる	0	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現するために	こ、事業内容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	• •	いえる		加できる機会を与れ			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、	施策への貢献原	度が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	• •	いえる	しテロの	成五と丁	~ (0	.000	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で	領似・重複した	た事務事業が存	在する。	0	する	0	しない					0	する	•	しない
CHEC		4.	事業の継続をしても成果の	の向上が期待で	できない。		0	できない	• •	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況	兄が劣っている	ると思う。		0	目標によ	上べて劣	っている		は、毎回なされている		ぎすので	0	目標に比べ	で劣っ	ている
	達	2.	目標設定に対して成果が	あまり上がっ ⁻	ていないと思う	0	0	あまり上	がってい	ない	一帆13建以	(640 (61)	5 90		0	あまり上が	っていた	すい
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標	票を達成してし	ハると思う。		•	概ね達用	成してい	 る					0	概ね達成	している)
		4.	目標設定に対して十分に	目標を達成し ⁻	ていると思う。		0	十分達	ずしてい	る					•	十分達成	している	5
		1.	効果に比べてコストが高い	,۱۰			0	高い	0	適当		は、低いz しています		業効率	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウ	や新たな制度を	を活用できる。		0	できる	0	できない	一よく回転し	していまり	0		0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係	で、実施手段等	等を見直す余地	oがある。	0	ある	0	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約方法の変更	などによりコス	スト削減の余地	ヹがある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
				一次訂					1				次評					
	評値	三点	必要性 有効性	達成度	効率性	総合評	価		必要'	性	有効性	達成原	芰	効率性	生	総	合評	価
	△ %	を の	3 4 ○ 拡大·充実 ● 現:	<u>┃ 3</u> 伏維持 ┃○	<u> 4 </u> ○方法改善	A ○ 民間委i	1生	C		<u></u> し 大・充実	4 ┃ ● 現物	<u> 4 </u> 犬維持		<u>4</u> 方法改割	ŧ.		_ <u>A</u>]委託	华
		句性		以相行 以期設定 (C		〇 氏间安瓿	L 1				統合/終			<u>刀丛设是</u> 廃止/休			女司	, 4
A C			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	•					THE T	•	マ評価での					の相違点	į	
ACT-OZ	当課	面の	老人クラブは、高齢化が進る必要があります。婦人会決また、各種講座は、利用者の	舌動では、活動	しやすい場の提	供をしていきた	こいで	す。	動のま	- 煙レ白さ	三運営の指	道が必要:	です					
N	と3 計	画	生涯学習の観点から、地域 場所づくりを目指します。	に根ざした活動	か展開され、諸	までも気軽に利	用でき		±,1 ∨ 7 X	, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	-E6VIII	→ // · // · / · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	C 7					
	委員指摘	員会 i事項																

	No. 40 —	15 基本事務事	業名 大傷	全公民館	施設管理	事業	事務事業	業名 公	民館施設管理	事業	公的関与	6 シ	/一ト作成日 平成23	年6月10日
	部局名	教	育委員:	슾	課	名	公民館	官	主務課長	各	井上雅夫	シー	ート作成者名	í藤春夫
	事業区分	○ 1 ソフト事 ○ 2 ハード				的事務事 の維持管3			金・負担金・支 管理事務・そ <i>の</i>		業運営方法	✓ 1 ☐ 2 		全部委託 補助等
		基本構想(政	策) 1	人が輝くる	まちづくり				実施計画			事業	€の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施	策)(2)	生涯学習	『の充実			0	1 該当	平	成 年	~ 平	^፲ 成 <mark>年 ☑ 期</mark> 間	聞設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習	関連施設	の整備充	実•機能引	鱼化 ●	2 非該当	相	製拠法 令等	阿波市公	〉民館条例、社会教育法	
		対象(誰を、 何を)	市民(大伯	吴区域内位	注民)									
		目的(どうい う状態にし	最終的	施設の維	持管理に	努め、利用	用者が快過	適に利用で	できまた生涯学	習の場とし	て提供を図り	ます。		
PL		たいのか)							できまた生涯学	習の場とし	て提供を図り	ます。		
AN		具体的にどの												
N		① 施設維持					R守点検及	な活掃	業務)					
	事業の	② 施設運営	(日常の会	公民館の賃	貸出業務)									
	活動内容	3												
		4												
		5	•	= ///- =	7 / L JP. Jæ -	-n 1	224 /_L			<i></i>	T - 1 - 0	左去	T + 00 F F	
		指標名	<u> </u>	計昇丸ノ	人は指標	設定理由	単位	+ 	平成 21		平成 22		平成 23 年度	最終目標
	数値目標	開館日数		年間日数	ζ		日	目標 実績		359 359		359 359		1
	(事業の目的 及び活動内	利用者団体数	九(字期					目標		10		10		
	容の達成度	利用)	汉(足别	クラブ数			数	実績		7		7		
	を測る指標)							目標						
		!			A = 1			実績			111 4 10			
	予算費目	会 計	<u> </u>		会計		款	10 教育		項	5 社会教		目 3 公民館費	
		园 庄 士 !!!		成 2	21 年	度決算	平成	22	年度決算	平成	23 年	度予算	備考	
		国庫支出	金			千円			千円			千円		
	•		債			千円			千円			千円		
D	市坪里辛罗	<u>地 方</u> その他特定則				千円 21 千円			千円 10 千円			千円 5 千円		
O		一般財	源		2	104 千円			2,345 千円		2	<u>5 千円</u> ,488 千円		
		<u></u> 計(A)	//示			104 173 125 千円			2,355 千円			, 4 88 千万 <mark>,493</mark> 千円		
		正職員工数・総	译書 0	200 人		257 千円	0.200	人	1,225 千円	0.200		, 100 千円		<u> </u>
		臨時·嘱託聯			۱,		5.200	- \	1,220	5.200	· '	,		
		臨時·嘱託工数·		000 人		0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円	1	
													-	

				チェ	ック項目					_	次評価	<u> </u>		一次評価	の説	明		二次	評価	i
		1.	市が実施しな主体があり、				i確保できる等 i 響は大きくな		0	少ない	•	大きい		民の活動技 ない存在で		してなくて	0	少ない	•	大きい
	必	2.	厳しい財政状	況の中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	0	ある					0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の向	与上のために、	現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ	低下がみられ スとなってし		隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	١ (٠	いえる		れのクラブ て利用して			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、)	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	•	いえなし	١ ()	いえる		ります。	. U 'QU	グで有効	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で類	類似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しない					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	しても成果の	向上が期	待で	ごきない。		0	できなし	١ (できる					0	できない	•	できる
CHECK		1.	目標設定に対	して進捗状況	が劣って	いる	らと思う。		0	目標に	比べて針	らっている	年間を	通じ利用さ	れてし	います。	0	目標に比べ	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	して成果があ	まり上が	うて	こいないと思う	0	0	あまり上	がってし	ない					0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	成してい	 る					0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十分に目	標を達成	えして	こいると思う。		•	十分達	成してし	る					•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				0	高い	•	適当	ほぼ毎	日施設が	利用さ	れ効率性	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウギ	新たな制	痩を	た活用できる。		0	できる	•	できなし		→ 7 °			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	:、実施手	段等	等を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	こどにより	コス	スト削減の余地	ヹがある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
						次評								_	二次評					
	評値	二点	必要性	有効性	達成原		効率性	総合評	価		必要	性	有効性	達成	度	効率	生	総	合評	-価
	<u>수</u> ƙ	を の		<u> 3 </u>	<u> 4</u> :維持		<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	千笙		<u>4</u>)抗-	L 大∙充実	4 : • #	 4 !状維持		4 方法改氰	É	○ 民間	A 【季意	千笙
A		句性	○縮小	○ 統合/終		0		〇 民间安日)縮/			終期設定	0	廃止/休		O ECIF	1350	<u> </u>
C			9 7111	9 175 17 17	,,,,,,,,	U	750				- 1111			の指摘事)			の相違点	į	
ACH-O		題	館も老朽化して	ており、設備等	を充実して	こいき	きたいです。			Ð	IIII X	オハ白:	好な環境に	-奴かス						
N	وع	草案 実行 画	老朽化に伴い	修繕等を計画	的に行うよ	うに	していきます。				πυ	ラい 、 及:	対る保切し	こガはノ心。						
		員会 事項																		

	No. 40 —	16 基本事務事	業名 大俣	公民館企	画運営事業	事務事	業名 大信	吴高齢者教室		公的関与 8	ンート作成日 平成23:	年6月10日
	部局名	教	育委員会	<u>></u>	課名	公民館	官	主務課長名	各	井上雅夫シ	一卜作成者名	藤春夫
	事業区分	● 1 ソフト	事業	0 3	8 経常的事務事	業	5 補助:	金•負担金•支	援 🗼	業運営方法 ☑ 1 i	直営 3 🖆	È部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	0 4	施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その)他	₹理呂万法 2 -	一部委託 4 衤	甫助等
		基本構想(政						実施計画		•	巣の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施		生涯学習(1 該当	平月		F成 年 ✓ 期間	問設定なし
		主要施策	(5)4	特色ある生	涯学習プログラム	ムの整備・拮	是供 🔘	2 非該当	根	拠法令等 阿波市尔	公民館条例、社会教育法	
		対象(誰を、 何を)	市民(大傷	吴区域内高	齢者)							
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	高齢者が生	きがいを持ちな	がら元気で	生き生き	と過ごせるため	の学習の	場の提供を図ります。		
PL		たいのか)	今年度	高齢者が生	Eきがいを持ちな	がら元気で	生き生き	と過ごせるため	の学習の	場の提供を図ります。		
A					ますか。(主なも	の5つまで	で)					
N		① 幼稚園・倪			あい事業							
	事業の	② 小学校児										
	活動内容	③ 健康推進										
		④ 交通安全	教室									
		<u>5</u>	⇒ I					T + 0	<i>5</i>			
		指標名	5	計昇式又	は指標設定理由	単位	+ 	平成 21		平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標
	数値目標	高齢者教室参	加者数	30人×7回		人	目標 実績		210 254	210 187		
	(事業の目的 及び活動内						 天 根 日標		204	10		
	容の達成度						実績					
	を測る指標)						目標					
							実績					
	予算費目	会 計		一般会	計	款	10 教育	-	項	5 社会教育費	目 3 公民館費	
			平	成 21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23 年度予算	備考	
		国庫支出	金		千円	I		千円		千円	3	
		県 支 出	金		千円	l		千円		千円	3	
	直接事業費	<u>地 方</u>	債		千円			千円		千円		
D	臣以于不良	その他特定則			千円			千円		千円		
0		一般財	源		35 ∓⊬			69 千円		80 1 F		
		計(A)	W7 ## 0 4		35 千 円			69 千円		80 f F		
		正職員工数:		200 人	1,257 千円	0.200	人	1,225 千円	0.200	人 1,209 千円	4	
	人件費(B)	臨時·嘱託崩		000 1	0	0.000	1	0	0.000	0	_	
	夕 /大車:	臨時·嘱託工数· 業費(A+B)	程負 U.€	000 人	0 千円 1,292 千円		<u>۸</u>	0 千円 1,294 千円	0.000	人 0 千円 1,289 千円		
	土冲争	表頁(ATD)			1, 292 +P			1,294 十円		1,269 十円	1	

			チェック項目		— ;	欠評価	一次評価の説明	_	- 次評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大きい	高齢化が進む中、高齢者にとっ て生きがいづくりの一つとして、	○ 少ない	、 ● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	学習の場を提供することは、重 要であります。	○ ない	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない	女でめりより。	೦ ಹತ	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない		ાગ્ઢ	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	○ いえる	長寿社会を迎えている今日、元 気で活動できることが大切なの	○ いえな	い 🌘 いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	○ いえる	で有効性は、高いものがありま	○ いえな	い ① いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	○ しない	す。	○ する	● しない
ROMEO		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる		○ できな	:い ⊙ できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標にと	とべて劣っている	参加者も多く、学習内容も好評で すので概ね達成しています。	○ 目標は	比べて劣っている
	達世	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上:	がっていない	7 07 C1成16年1次0 C0・6 7。	○ あまり.	上がっていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	•	概ね達用	 或している		○ 概ね道	達成している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0		或している		● 十分i	達成している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	高齢者が学習を通じ得た知識 は、計り知れないものがありま	○ 高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない	す。	○ できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	•	ある	○ ない		🔾 ಹಕ	⊙ ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	⊙ ない		<u></u>	● ない
			一次評価				二次評価		
	評値	三点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価			有効性 達成度 効率	生	総合評価
	全名	を の	4	华	С	4 〕拡大∙充実		基 〇	A 民間委託等
Λ	方向	句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止 ───		\overline{C}		統合/終期設定 ○ 廃止/休		《间文化书
AC			***			二次	評価での指摘事項及び一次評		皇点
TIO	当武課	面の :題	高齢化が進む中で、元気で活動できるようにサポートしてゆける教室を考たいです。	えて		かまい ちゃく カラ	にし、現状維持をして下さい。		
Ň		革案 実行 画	高齢者にとって学習機会を持つことは、大切であるので要望があるものを 実行していきます。	計画		加しにりいい谷	こし、近仏神は行さして「でい。		
		員会 i事項							

	No. 40 —	17 基本事務事業	^{業名} 久勝	公民館	企画運営事業	ŧ :	事務事業	美名 地	域ふれあい体	験事業	公的	関与 8 シ	一卜作成日 平成23年	年6月9日
	部局名	教 [*]	育委員会	ŧ	課名		公民飢	Ė	主務課長	名	井上雅	夫 シー	卜作成者名 高E	田佳代子
	事業区分	● 1 ソフト事		0	3 経常的事	務事業		5 補助	金・負担金・3	援 _東	業運営方	- 注 🔽 1 值	[営 □ 3 슄	È部委託
	争未区万	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維	持管理		6 内部	管理事務・そ	の他	未理呂方	2 -	-部委託 4 袝	前助等
		基本構想(政策	<mark>策)</mark> 1. 人	が輝く	まちづくり				実施計画			事業	の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策	<mark>策)</mark> (2) 生	生涯学習	習の充実			•)1 該当		·成		成 年 ☑ 期間	設定なし
		主要施策	(5)特	持色ある	生涯学習プロ・	グラム(の整備・提	是供 ()2 非該当	村	見拠法令	等 社会教育	法・阿波市公民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市民∙久勝	地区内	の市民									
	事業の 対象・目的	目的(どうい : う状態にし	最終的	本験や角	発表の機会を 提	単供して	、人間性	豊かにi	過ごせるように、	異年齢の	人達とふれ	れあいを深めま	す。	
PL		たいのか)	今年度											
AN		具体的にどの					5つまて	<u>(</u>						
N		① 久勝幼稚園												
	事業の	② 久勝幼稚園												
	活動内容	③ 久勝幼稚園			ハ交流	会								
		④ ふれあいた	<u>」一ブミラ-</u>	-清掃事	業									
		5		- 1 1		-m ()				, .				
		指標名		計算式》	又は指標設定	埋田	単位		平成 21			22 年度	平成 23 年度	最終目標
	数値目標	幼稚園児親子ふれる え体験参加者数	あい田植	1回	85人		人	目標		75		80	85	
	(争未の日的							実績 目標		70 75		75 80	85	
	及び活動内 容の達成度	幼稚園児親子ふれる り体験参加者数	あい稲刈	1回	85人		人			73		78	60	
	を測る指標)		0 III //b			-		<u>天</u> 碩 目標		130		120	120	
		幼稚園児と高齢者と間ふれあい交流会会		1回	120人		人	実績		110		102	120	
	予算費目	会 計		一般	会計		款	10 教		項		教育費	目 3 公民館費	
			平原		21 年度》	- 算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考	
		国庫支出	金			千円			千円			千円		
		県 支 出	金			千円			千円	1		千円		
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円		
D	但汉尹未貝	その他特定財				千円			千円			千円		
0			源			千円			80 千円			89 千円		
		計(A)				千円			80 千円			89 千円		
		正職員工数·紹		00 人	1,257	千円	0.200	人	<mark>1,225</mark> 千円	0.300	人	1,813 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職												
	A /L = :	臨時·嘱託工数·約	全費 0.00	00 人		千円	0.000	人	0 千円		人	0 千円		
	全体事	業費(A+B)			1,342	千円			1,305 千円			1,902 千円		

					チェッ	ック項目					_	次評値	Ш		_	-次評価	の説	明		二次	評値	<u> </u>
		1.						、確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	•	大き	۱J	少子·高樹 現在、農	業体験∙世	世代間	ふれあ	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政権	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	0	ある		い交流会達とふれる				0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のため	た、現	現在の手段	殳、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない		(理とかれ)		、 人 I	目形成に	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサート				隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	U					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに、	事業内容	学が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	,	いえ	3	保護者の験を通して				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマ	ンネリ化な	ど、施	策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	۰, O	いえ	る	食の安全	・安心の	為、日	々頑	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	0	しな	い	張っている 児教育に			とは、幼	0	する	•	しない
CHEC		4.	事業の継続る	をしても成	【果の	向上が期	待で	きない。		0	できない	,	でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	らってい	る	参加者もない田植				0	目標に比	べてま	らっている
	達	2.	目標設定に対	対して成果	があ	まり上が	って	いないと思う	0	0	あまり上	がってし	ない		んでおり				0	あまり上が	ってし	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標:	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してに	·る		ます。				0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分	に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してし	いる						•	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコストが	高い。)				0	高い	0	適当	á	事業費には十分で				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハ	つや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	でき	ない	الم ا کا د	(0.96)	ლი. მ	· 9 o	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関	係で、	、実施手	段等	を見直す余地	゚゚゚ゕ゙ある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変	更な	どにより	コス	ト削減の余地	゚゚゚ゕ゙゙ある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
							欠評					•			•		.次評					
	評値	三点	必要性	有効性	生	達成度	Ę	効率性	総合評	価		必要	性	7	有効性	達成	度	効率	生	総	合計	平価
	全名	後の	4 ○ 拡大·充	<u> 4</u> F宝 ●	<u></u> 現状	4 維持	\bigcirc	4 方法改善	A ○ 民間委詞	千笙	(大・充	<u> </u> 宝	● 現状	<u> 4 </u> ∵維持		4 方法改善	<u></u>		A 引委:	千笙
Δ)	○縮小			胡設定		廃止/休止	O POINT OF)縮.		$\widehat{\Box}$	統合/終			廃止/休		O POIL		
ACT				•		•								二次	(評価での		頁及(ゾー次評	価と	の相違点	į	
Ţ					齢者に	対して幼	稚園	児が年々少な	くなってきてい	るのか	が気											
-0	課	瓼	にかかります	0																		
N	改革	丰案										現状で	での継	続を	して下さい	0						
	と身	€行	効率よく運営	していくたと	めの企	画立案を	行い	ゝます。														
	計																					
		€会 事項																				

	No. 40 —	18 基本事務事	業名人勝	公民館1	企画運営事業	集	事務事業	業名	、勝高齢者教室	<u> </u>	公的関	989	·一卜作成日 平成234	年6月9日
	部局名	教	育委員会	슾	課名		公民館	館	主務課長	名	井上雅夫	シー	ート作成者名 高田	日佳代子
	事業区分	● 1 ソフト事○ 2 ハード			3 経常的事				力金・負担金・ラ		業運営方法	✓ 1 i		全部委託
		○ _ , , , ,			4 施設の維	持官工	里 〇	이시리	常管理事務・そ	の他				助等
	ᄵᄼᆋᆂ	基本構想(政策							実施計画	7	i cli		の開始・終了	三元 亡 ナン
	総合計画	基本計画(施注		生涯学習		ドニィ	○勘# +		● 1 該当				・ <mark>成 年 ✓ 期間</mark>	放化なし
		主要施策	(5):	は田のの2	生涯学習プロ	クフム	の登価。	定供	② 2 非該当	1	艮拠法令等	社会教育	法•阿波市公民館条例	
		対象(誰を、 何を)	久勝地区	高齢者∙⋷	市民 ————————————————————————————————————									
		目的(どういう) 対態にし	最終的	いきいき	と、又健やかり	こ暮らも	せるように	、教養	∙親睦∙趣味等生	涯学習の	場の提供に努	がます。		
PL			今年度											
A		具体的にどの	ような活	動を行し	ゝ ますか。(主	こなもの	の5つまつ	で)						
N		1) 久勝高齢												
	事業の	② 久勝高齢	者教室講	演会・お談	延生会•幼稚園	見児と0	D世代間。	ふれあし	小交流会					
	活動内容	③ 久勝高齢	者教室手	芸講座										
		4												
		5												
		指標名	l l	計算式又	スは指標設定	理由	単位		平成 2		平成 22		平成 23 年度	最終目標
	双胆口惊	高齢者教室講演会 会参加者数	・お誕生	10 8	80人		人	目標実績		100 80		90 70		
	(事業の日的)	高齢者教室講演会	. ## ## 問			-		目標		120		120		
	容の達成度	ふれあい交流会参		1回	120人		人	実績		110		102	123	
	を測る指標)	高齢者教室手芸講	座参加者	10回~	10人=120	l	人	目標		120		120	120	
		数		-				実績		80		84		
	予算費目	会計			会計		款	10 教		項	5 社会教		目 3 公民館費	
			平	成 2	11 年度》		平成	22	年度決算	平成	23 £	丰度予算	備考	
		国庫支出				千円			千日			千円		
		県 支 出	金			千円			千月			千円		
	直接事業費	地 方	債			千円			千月			千円		
DO		その他特定財			010	千円			于F			千円		
		<u>ー般財</u> 計(A)	源			千円			64 +F			91 千円		
			№ 0 (200 人	1,257	千円 千円	0.200	1	64 千F 1,225 千F		1	91 千円 1,209 千円		
	人件費(B)	蓝時·嘱託職		200 人	1,237	干円	0.200	<u> </u>	1,ZZ3 +1	0.200	<u> </u>	1,209 干円		
		臨時·嘱託工数·約		000 人	0	千円	0.000	人	0 ∓F	9 0.000	人	0 千円		
	全体事業	業費(A+B)			1,476	千円			1,289 千F	9		<mark>1,300</mark> 千円		

			チェック項目		_	次評価	<u> </u>		一次評価	の説明	月		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	•	大きい	うに参	が毎日元気 加者のニー	ズ把据	と身近	0	少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	•	ある	な学習	冒の場として』	必要で	す。	0	ない	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	0	ない					0	ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	•	いない					0	いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえなし	۰, O	いえる		音の身近な所 D者も多く、優			0	いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえなし	,	いえる		山石も多く、傾 常に関心が高			0	いえない	● いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	0	しない					0	する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できなし	,	できる					0	できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に	比べて劣	らっている		E会・研修会・ い交流会			0	目標に比り	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	がってい	ない		達成していま		л + 0	0	あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達	成してい	 る					0	概ね達成し	している
	,	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	•	十分達	成してい	る				,	•	十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	•	適当		きから見ても:			0	高い	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	•	できない) C 0201+111	0. I□] 0		0	できる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	•	ない					0	ある	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	0	ない					0	ある	● ない
			一次評価							次評				
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価		必要'	性	有効性		度	効率性	Έ	総	合評価
	今往	を の	4	F筀			 ト・充実	4 • ‡	 4 _ 見状維持		4 _ 方法改善	Ė		_ <u>A</u>
Λ		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		_				/終期設定		<u> </u>		CPUIA	13416 ()
C					- 314		=		での指摘事項				の相違点	
ACT-ON		面の :題	経費削減の面から、ますます高齢化している現状から、誰もが身近な場習する場の提供は、高齢者の生きがい、健康増進の面からも現状維持がいです。	i所で i好ま	₹し	参加1 。	やすいは	1次に1乗	見状維持して	下さい				
N	と3 計	草案 実行 画	高齢者の生活に張りと潤いを与える為、学習機会の提供を続ける必要が す。	があり		<i>9</i>	, , v . p	, <u>G</u> 1 C O 9		,	O			
	委員指摘	員会 事項												

	No. 40 —	19 基本事務事	業名 久勝	券公民館生	活文化振興事	事業 事	務事業	名 各種	種団体の育成		公的関与	9 シ	一卜作成日 平成23年	年6月9日
	部局名	教	育委員:	会	課名		公民館		主務課長	名	井上雅夫	シー	ト作成者名 高E	田佳代子
	事業区分	① 1 ソフト ③	事業	0	3 経常的事務	务事業	5	補助st	&·負担金·支	援 🗼	業運営方法	1 直	[営	È部委託
	争未区方	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持	寺管理	0 6	内部管	管理事務・その	D他 ^{争:}	未理呂刀法	_ 2 -	-部委託	甫助等
		基本構想(政	<mark>策)</mark> 1	人が輝くま	きちづくり				実施計画			事業	の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施	策)(2)	生涯学習	'の充実			0	1 該当	平	成 年		·成 年 🗸 期間	設定なし
		主要施策	(6)	関係団体	の育成			O	2 非該当	根	拠法令等	社会教育	T法·阿波市公民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市民											
		目的(どうい う状態にし	最終的	市の行事	に積極的に参加	加する等	、元気で	で生活に	張りと潤いをも	たせ健康	で明るい毎日	を送り、自	主的活動ができる補助を	とします。
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの			ますか。(主か	なもの5	つまで))						
N		① 阿波地区												
	事業の	② 阿波地区			会									
	活動内容	③ 久勝グラワ		ノフクラブ										
		4 久勝運転												
		⑤ 久勝婦人												
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理	里由 耳	单位		平成 21		平成 22		平成 23 年度	最終目標
	数値目標	老人クラブ参加者	数	総会120人	·体育大会100人	他	人	目標		370		400		
	(事業の目的							実績 目標		400 500		380 380		
	及び活動内 容の達成度	グラウンドゴルフ参	加者数	2回×80人	13回×17人		人	実績		380		350		
	を測る指標)							目標		16000		18000		
		サークル活動参加	者数	240人×48	30		人	実績		18000		17000		
	予算費目	会 計		一般:	会計	<u> </u>		0 教育	 音	項	5 社会教育		目 3 公民館費	
	. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		平	成 2		算 平	<u>"</u> 成	22	<u>年度決算</u>	平成		度予算	備考	_
		国庫支出				千円			千円			千円		
		県 支 出	金			千円			千円			千円		
		地 方	債			千円			千円			千円		
D	旦 按尹未貝	その他特定則			,	千円			千円			千円		
0		一 般 財	源			千円			0 千円			10 千円		
		計(A)				千円			0 千円			10 千円		
		正職員工数·約		500 人	3,142	千円 0	.500 人		3,063 千円	0.300	人 1,	<mark>813</mark> 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職								_				
		臨時·嘱託工数·	経費 0.	000 人			.000 人		0 千円	0.000	人	0 千円		
	全体事業	業費(A+B)			3,142	千円			3,063 千円		1,	<mark>823</mark> 千円		

				チェ	ック項目					_	次評値	5		_	-次評価(の説	明		二次	評価	i
		1.	市が実施しな主体があり、						0	少ない	•	大きい		の行事に	も積極的	に参り		0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	0	ある			スポーツ記 を図り、B			0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の向	与上のために、	現在の手具	ひ、 フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない			で凶り、E 貢献してい			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ	低下がみられ スとなってい		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いない	1					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内容	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなり	<u>۱</u> •	いえる			・婦人会に に参加し			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	ر. •	いえる	- 1-	ラブ等活	動団体は			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で類	似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	0	しない	,	活発です	0			0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	向上が期	待で	きない。		0	できない	۰, 🌘	できる						0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	らっている	5 .	参加者 ⁻ す。	も多く達成	度は	十分で	0	目標に比べ	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	して成果があ	まり上が	って	いないと思う	0	0	あまり上	:がってし	ない		9 0				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してい	งอ						0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十分に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してし	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	\ ₀				0	高い	0	適当	,	費用対象活動しては		えると	効率よく	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できな		/D #J U C C	7.0.7.0			0	できる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員と	成果の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	゚゚゚ゕ゙ある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
						次評										次評		•			
	評値	西点	必要性	有効性	達成度)	効率性	総合評	価		必要	性	有	効性	達成	芰	効率	生	総	合評	-価
	今往	を の		<u> 4 </u>	 4 ├維持	\bigcirc	<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	千筀	(大• 充孚	ŧ T	<u>4</u> ● 現状			4 方法改善	É	○ 民間	A 【委託	 千 生
Λ		句性	○縮小	○ 統合/終			<u> </u>	O EVINISH						<u> </u>			<u> </u>		CECIE	<u> </u>	<u>.,,</u>
C												=					ゾー次評		の相違点	į	
ACT-O		面の:題	当面は現在の	の活動ができる																	
N		車案	白子馆学不是	とフ Lこ+ヒン岩 上	カ詳してい	1 31 7	亜 杉 キ ロ ナ ナ				活動の	支援と	自主	運営の指	i 導が必要	更です	•				
		画	日土理呂でき	きるよう指導、抗	協譲してい	く必治	安かめります。 														
		員会 事項																			

	No. 40 —	20 基本事務事	業名 久朋	券公民館施	設管理事業	事務事	業名 公.	民館施設管理	事業	公的関与 6 シ	ノート作成日 平成23年	₹6月9日
	部局名	孝	枚育委員:	会	課名	公民館	馆	主務課長	各	井上雅夫シ	一卜作成者名 高田	日佳代子
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•支	-	¥ - B ' B' ' E ' X - L - L - L - L - L - L - L - L - L -		≧部委託
	争未达力	○ 2 ハード	, ,,,		1 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その)他			亅
		基本構想(政		人が輝くま				実施計画		•	業の開始・終了 <u></u>	
	総合計画	基本計画(施		生涯学習(C	· H21-	平	•	<mark>F成 年 ☑ 期間</mark>	設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習関	関連施設の整備充	実・機能的	強化 <mark>●</mark>	2 非該当	枯	拠法令等 社会教育	育法·阿波市公民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市民									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	生活文化	の振興、地域づく	りの拠点と	として市員	尽が自主的に活 動	動できるよ	う維持管理に務めます	•	
PL		たいのか)	今年度									
AN					ますか。(主なも	の5つまつ	で)					
N		① 日常の公										
	事業の	② 夜間・休日										
	活動内容			肖防設備の	点検業務							
		④ 浄化槽の										
		⑤ 公民館の			14.比無乳点用去	1 124 /L		T T C 04	左曲	亚宁 00 左连	五世 00 左连	
		指標名	<u>占</u>	計昇八人	は指標設定理由	単位	目標	平成 21	<u>年度</u> 359	平成 22 年度 359	平成 23 年度 359	最終目標
	数値目標	開館日数		359日		日	実績		359	359		
	(事業の目的 及び活動内						目標		24	24		
	容の達成度	各講座・クラブ活動	動団体数	グラウンド= 	ゴルフ外18クラブ	クラブ数	実績		24	19		
	を測る指標)						目標					
							実績					
	予算費目	会 計		一般会		款	10 教		項	5 社会教育費	目 3 公民館費	
				成 21		平成	22	年度決算	平成	23 年度予算	備考	
		国庫支出			千円			千円		千円		
		県 支 出	金		千円			千円		千円		
D	直接事業費	<u>地 方</u> その他特定!	債		千円 79 千円			千円 100 千円		千円 10 千円		
O		一般財	源		2,876 千円			2,938 千円		2,827 千円		
		計(A)	//示		2,955 千円			3,038 千円		2,837 千円 2,837 千円		
		正職員工数:	経費 0.	200 人	1,257 千円	0.100	X	613 千円	0.200	人 1,209 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託耶		- / -	.,							
		臨時·嘱託工数		000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	人 0 千円	3	
	全体事業	業費(A+B)			4,212 千円			3,651 千円		4,046 千円	3	

				チュ	ック項目					_	次評	西		_	-次評価(の説	明		二次	評価	5
		1.					、確保できる等 グ響は大きくな		0	少ない	•	大きし	۸,	市が実施の対象	施しなくて ないと思し			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政が	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手具	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		:隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いなし	۸,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内容	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	۰ ، (۰	いえる	5		体・クラブ り有効性に		主事業は	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえない	۰ ، (۰	いえる	5	カ元での	A.H WILL	 		0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	6施策の中で数	頁似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	١					0	する	•	しない
CHEC		4.	事業の継続を	としても成果の	D向上が期	待で	ごきない。		0	できない	,\	できる	5					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣っている	<u>გ</u>	利用者 す。	も多く十分	達成	していま	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり上	:がってし	いない		9 0				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してい	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストが高い	١,				0	高い	•	適当					めて契約 用率も高		高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウヤ	か新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できな	١J٤	く、効率性			カギで同	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	ご、実施手	段等	Fを見直す余地	!がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更な	ょどにより	コス	く ト削減の余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
					—;	次評	P 価							•	=	.次評	価				
	評値	耳	必要性	有効性	達成原	更	効率性	総合評	<u>'</u> 価		必要	性	7	有効性	達成	叓	効率	生	総	合評	価
		後の	4 ○ 拡大·充	<u> 4</u> E実 ⊚ 現物	4 + 丝 + + -		4 方法改善	A ○ 民間委i	工学			 大•充 [_]	±	4 ┃	<u>【 4</u> ┞維持		4 方法改善	É		<u>A</u>]委詞	1年
		り性	○ 縮小	□ 美 ● 現1)	廃止/休止	○ 氏间安計	一) ′′′′· · · · · · · · · · · · · · · · ·		$\overline{\bigcirc}$	<u>₩</u> 統合/終			廃止/休			少	L 寸
A	,,,			्र गुरु हो / गुरु	141HX /C		DCTT, MITT				<u> </u>	_		評価での					の相違点	į	
ACT-O	当課	面の 題	現状維持に	努めます。							利田			子な環境に						<u>, </u>	
N	と3 計	草案 ミ行 画	現状維持をす。	保つための予算	章確保と共	に、	各団体が効率。	よく利用するよう	う務 <i>は</i>		rij /打し	. 12 9 6	`及外	丁仏界境ト	-ガ ^෭ /ん。						
	委員 指摘	員会 事項																			

	No. 40 —	21 基本事務事	業名 伊沢	公民館	企画運営事業		事務事業	業名 地	域ふれあい体具	験事業	公的関与	8 シ	一卜作成日 平成23年	F6月9日
	部局名	教	育委員会	술	課名		公民館	馆	主務課長	名	井上雅夫	シー	ート作成者名 高田	1佳代子
	事業区分	1 ソフト事2 ハード			3 経常的事				金・負担金・支 管理事務・そ <i>0</i>		業運営方法	✓ 1 直		:部委託 助等
	総合計画	基本構想(政基本計画(施	策)(2)	生涯学習	の充実	-x- /	O \$4 /# +		実施計画		成年	~ 平		設定なし
		主要施策 対象(誰を、 何を)			生涯学習プロク ・伊沢幼稚園園) 2 非該自	位	₹拠法令等 [I芸教育	法・阿波市公民館条例	
		目的(どういう状態にし	最終的	わら細こ	エ・竹細工など	を体駆	食し、豊か	な心を養	きいます 。					
PL		たいのか)	今年度											
AN	事業の 活動内容		校児童と	高齢者との	ヽますか。(主 の昔の遊び伝え ふれあいクリス	承教室	こわら細.		I					
		⑤ 指標名	2	計質計7	スは指標設定	珊山	単位		平成 21	在由	平成 22 4	生年	平成 23 年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	わら細工・竹細工を			是児童30人×2回	ΞШ	人	目標	7792 21	千度 60 60	1100 22 -	- 反 60 60	60	以 作日标
	及び活動内 容の達成度	クリスマス会参加ノ	\ 77 V	伊沢幼稚園 回	児・高齢者100人	.×1	人	目標		100 85		100	100	
	を測る指標)							目標実績						
	予算費目	会 計	-	一般	会計	•	款	10 教	育費	項	5 社会教育	費	目 3 公民館費	
			平	成 2	11 年度決	算	平成	22	年度決算	平成	23 年月		備考	
		国庫支出				千円			千円			千円		
		県 支 出	金			千円			千円			千円		
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円		
D		その他特定則			000	千円			千円			千円		
0		<u>ー 般 財</u> 計(A)	源		230		<u></u>		88 千円			10 千円		
			及書 ○ 1	100 人	230 628	千円	0.100	1	88 千円 613 千円	0.200		10 千円 09 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職	種					^ <u> </u>						
		臨時·嘱託工数·	経費 0.0	000 人		千円	0.000	人	0 千円	0.000		0 千円		
	全体事業	業費(A+B)			858	千円			701 千円		1,3	<mark>19</mark> 千円		

				チェ	ック項目					_	次評値	西	_	-次評価の	の説明	月		二次	評価	
				なくても、公平 事業を廃止・					0	少ない	0	大きい		齢化が進/ 生・幼稚園			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		らいは、人間	引形成	だに不可	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手具	没、ブ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない	欠です。				0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってい		:隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	0	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	容が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	١ (٠	いえる		の人達にな			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	١ (いえる	齢のふれ	あい又、	きの遊	なびを体	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で類	質似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	0	しない	一験できる す。	のでたいへ	へん有	効で	0	する	•	しない
HEC		4.	事業の継続を	としても成果 <i>の</i>	向上が期	待で	きない。		0	できなし	,	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	ぴ劣って	いる	と思う。		0	目標に	七べて貧	片っている		はもう体験			0	目標に比	べて劣・	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	まり上が	って	いないと思う	0	0	あまり上	がってし	いない	達成度に	は十二分に			0	あまり上が	っていた	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	或してに	าอ าอ	います。				0	概ね達成	している	5
		4.	目標設定に対	対して十分に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してに	いる					•	十分達成	している	3
		1.	効果に比べて	てコストが高い	١,				0	高い	•	適当	事業効あると思	果の高さに	は対]率性が	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウギ	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できない		いみり。			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	上成果の関係で	:、実施手	段等	を見直す余地	゚゚゚ゕ゙ある。	0	ある	0	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	じにより	コス	ト削減の余地	゚゚゚ゕ゙ある。	0	ある	0	ない					0	ある	•	ない
						次評									次評					
	評值	E.点	必要性	有効性	達成原	臣	効率性	総合評	·価		必要	性	有効性	達成原	更	効率性	生	総	合評	価
	今後	後の		│ 4 E実	4 比維持	0	<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	千筀			L 大∙充実	4 ┃	4 犬維持	0	<u>4</u> 方法改割	É		_ <u>A</u> 引委訊	 F等
Δ		引性	○ 縮小	○ 統合/終			廃止/休止	O POINT IN	=							////////////////////////////////////		0 2011		
ACT												=	次評価での	D指摘事项	頁及で	バー次評	価と	の相違点	į	
Ţ	当課	画の	予算が少な	いので、活動が	制限される	ます。)													
0	环	咫									日北一	: ^ UV 0± 0	#+± <i>ナ</i> リ テコ	-+1,						
N	改造と実		まる小川 予僧	草が多ければ、。	トルチ動が	女宝	できると田いま	= 			呪状で	「ひつが玉が兄が	推持をして下	`~\`°						
	計		ロフグレド昇	FN:2011101000	アンロ 到か	九天	ここのこぶいす	· 7 o												
		会 事項																		

	No. 40 —	22 基本事務事業	名 伊沢:	公民館1	企画運営事業	事	務事業	名 伊洲	マ高齢者教室	1		公的関与	8 シ	/一ト作成日	平成23年	F6月9日
	部局名	教育	香員会		課名		公民館		主務課長			井上雅夫		ート作成者名		1佳代子
	事業区分	● 1 ソフト事業			3 経常的事務				ὰ∙負担金∙叏		車業	運営方法	✓ 1 億			部委託
	争未区力	○ 2 ハード事	- 1 -		4 施設の維持	持管理	0 6	6 内部管	管理事務・その	の他	学 术	连舌刀丛	_ 2 -	−部委託	4 補	助等
		基本構想(政策							実施計画					€の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策							1 該当		平成			^Z 成 年		設定なし
		主要施策	(5)特	色ある	生涯学習プログ	ラムの	整備∙提	供	2 非該当		根抄	见法令等	社会教育	育法•阿波市公月	是館条例	
		対象(誰を、 何を)	伊沢地区	の高齢	者											
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最う状態にし	人終的	高齢者	が楽しめることを	第一と	とし、次に	□教養・親	₹ 見睦・世代間交	流を図	ります	0				
PL			7年度													
AN		具体的にどのよ				よもの	5つまで	•)								
N		① 伊沢幼稚園	児とのふ	れあい	フリスマス会											
	事業の	2														
	活動内容	3														
		4														
		5					***									
		指標名	ā	计算式区	ては指標設定理		単位		平成 21			平成 22		平成 23		最終目標
	数値目標	ふれあいクリスマス会	È	1回 1	00人		人	目標			100		100		100	
	(事業の目的							実績			85		60			
	及び活動内 容の達成度						-	目標 実績								
	を測る指標)							_ 天 根 目標								
								<u> </u>								
	予算費目	会 計		— 船	会計		款	10 教育	L 香		項:	5 社会教	育費	目 3	公民館費	
	77721	<u> </u>	平成			算	平成	22	年度決算	平			度予算		備考	
		国庫支出金		-		千円			千円	_			千円			
			金		=	千円			千円	3			千円			
	直接事業費	地 方 化	責		=	千円			千円	3			千円			
D	但按争未負	その他特定財源	原		=	千円			千円	}			千円			
0			原		161 -	千円			0 千円	}			44 千円			
		計(A)			161 ⁻				0 千円				44 千円			
		正職員工数·経		00 人	628	千円	0.100 ,	人	613 千円	0.1	人 001		604 千円	Ц		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種														
		臨時·嘱託工数·経	費 0.00	00 人	0 =		0.000	人	0 千円)00 人		0 千円			
	全体事	業費(A+B)			789	千円			613 千円	3			648 千円	l		

			チェック項目		— <u>}</u>	欠評価	一次評価の説明	二	次評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	大きい	高齢者が楽しみ生きがいとなり、健康増進のために必要性は	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	あります。	○ ない	ある
	要性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない		<u></u>	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない		○ <i>い</i> る	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる	幼稚園児とのふれあいはかわ いさもあり、大変心をなごませる	○ いえない	● いえる
	有动	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	● いえる	ので、有効性はあります。	○ いえない	● いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない		する	● しない
CHE		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる		○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に比	とべて劣っている	参加者には大変好評で元気を もらったと言い達成度は高いと思	○ 目標に出	:べて劣っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上っ	がっていない	います。	○ あまり上が	がっていない
	皮度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達原			○ 概ね達成	えしている
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達成	艾している		● 十分達成	
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	予算面からみても、事業効果は 高いと思います。	○ 高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない		○ できる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない		<u></u>	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない		🔾 ಹತ	ない
			一次評価				二次評価		
	評値	五点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評 4 4 4 4	価		<u>必要性</u> 4	有効性 達成度 効率 4 4 4	性系	8合評価
	今後	を の	4 4 4 A A A A A A A	£¥.	0	•		善 ○ 民	<u>A</u> 間委託等
Δ		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止	=	C		統合/終期設定 ○ 廃止/休		77.40
ACT						二次	マ評価での指摘事項及び一次評	価との相違	点
		画の	もう1つぐらい事業を増やしたいです。						
10	課	起							
N	改章	丰案			— 参	参加しやすい内?	容にし、現状維持をして下さい。		
	と事	【行	もう1つぐらい事業を増やしたいです。						
	計								
		員会 i事項							

	No. 40 —	23 基本事務事	業名 伊沙	2公民館生	活文化振興哥	事業 事	事務事業	名各	重団体の育成		公的関	5 9 シ	一卜作成日 平成23年	丰6月9日
	部局名	孝	枚育委員	会	課名		公民館		主務課長	名	井上雅爿	₹ シー	-卜作成者名 高田	田佳代子
	事業区分	① 1 ソフト	事業	0	3 経常的事務	务事業	0.5	5 補助st	金・負担金・支	援	業運営方法	上 □ 1 直		≧部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持	寺管理	0 6	5 内部	管理事務・その)他	未连占刀。	2 -	·部委託 🗸 4 й	亅
		基本構想(政		人が輝くま					実施計画			• • •	の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施		生涯学習						平		年~平		設定なし
		主要施策	(6)	関係団体	の育成			<u> </u>	2 非該当	植	拠法令等	社会教育	法·阿波市公民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どうい	最終的	市民が	楽しめることを貧	第一とし	、教養•イ	健康を高	ぶめ生活文化の	振興を目	指します。			
PL		う状態にし たいのか)	今年度											
A		具体的にどの	りような活	舌動を行い	ヽますか。(主を	なもの	5つまで)						
N		① 阿波市ゲ												
	事業の	0 "	館の趣味	₹ ・ サークル	⁄団体									
	活動内容	3												
		<u>4</u>												
		5	-	= <i>h</i> /c : =		m _L I	W 11		T		— _b	- 	T -	
		指標名	<u> </u>	計算式又	(は指標設定理	里田	単位	D +#	平成 21		半成 2	22 年度 350	平成 23 年度	最終目標
	数値目標	ゲートボール参加	l者数	年5回×8	0人		人	目標 実績		359 351		400		
	(事業の目的 及び活動内							<u>天順</u> 目標		3500		8000	8000	
	容の達成度	サークル活動参加	口者数	24団体(6	20×12回)		人	実績		7164		7440		
	を測る指標)							目標		,		7110		
								実績						
	予算費目	会 計		一般	会計		款	10 教育	育費	項	5 社会教	教育費	目 3 公民館費	
				成 2	1 年度決	算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考	
		国庫支出				千円			千円			千円		
		県 支 出	金			千円			千円			千円		
	直接事業費	<u>地 方</u> その他特定!	債			千円			千円			千円		
DO		ての他特定! 一 般 財	源源			千円			<u>千円</u> 千円			千円 10 千円		
		<u></u>	// 示			千円			0 千円			10 千円		
		正職員工数:	経費 O	500 人	3,142		0.500	٨ .	3,063 千円	0.100	人	604 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託耶			0,112		2.000		0,000	3.100	/\	001 111		
		臨時·嘱託工数		000 人	0	千円	0.000	<u> </u>	0 千円	0.000	人	0 千円		
	全体事業	業費(A+B)			3,142	千円			3,063 千円			614 千円		

				チ	ェック項目					— ;	次評値	5			一次評価	の説	明		二次	:評個	<u> </u>
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大きし		る。又、	ラブは熱ヮ 多様化して	こいるの	ので、育	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次	年度以降第	€施す	^ト る緊急性が認	3められない。	0	ない	•	ある		成してい	くことが必	要で	す。	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の応	与上のために	、現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			丘隣自	目治体と比較し	,てニーズを	0	いる	•	いなし	۱,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するため	に、事業内	容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	5		自主運営 で有効性か			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	(いえる	5	יניאטי	で有効圧が	י פינישי	. 9 °	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で	類似・重複	夏した	と事務事業が存	在する。	0	する	0	しなし	١					0	する	•	しない
KOHHOK		4.	事業の継続を	しても成果	の向上が其	月待て	ごきない。		0	できなし	, O	できる	5					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状	況が劣って	こいる	ると思う。		0	目標によ	七べて針	らっている	3		ラブが効 も活発な(0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果が	あまり上か	うつて	こいないと思う	, ₀	0	あまり上	がってし	ない		ています		,, С 1	力圧成し	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達別	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 vる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	して十分に	目標を達成		こいると思う。		•	十分達	成してに	る						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高	い。				0	高い	•	適当			ラブは、熱 で、効率性			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	度を	と活用できる。		0	できる	0	できた	ほい	0 1000	· · ////	100 IDJ V	7 () 0	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施手	段等	等を見直す余地	がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更	などにより	ノコス	スト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
					_	·次評	平価								=	次評	価				
	評値	三	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合評	' 価		必要	性	有	対性	達成	度	効率性	生	総	合計	萨価
	△ %	を の	4 ○ 拡大·充	4 宝 l ② 珇	_ 4 _ 状維持		<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	4笙		<u>4</u> \ 坑-	 大•充:	宔	4 ● 現:	_ 4 状維持		4 方法改氰	É	○ 民間	A 引表:	4 笙
		句性	○縮小		<u>終期設定</u>	$\overline{0}$		〇 以间安市						0	冬期設定		廃止/休		O IXIF	133	10 47
C			O THE P	9 1/20 [2]	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				11111				の指摘事				の相違点	į	
ACT-O		面の 題	当面は現在の	の活動ができ	るよう努め	る必	要があります。														
Ö	环	起								,	エモルの	十 +亞 1	. 	上電学の	北道北沙		_				
Ň		车案								7	古虭()	文抜さ	E 1	E連宮の	指導が必	安です	0				
		と行 画	館の利用を対	効率よくし、更	に新しいク	ラブ	も受け入れるよ	うにします。													
	委員	会																			
	指摘	事項																			

	No. 40 —	24 基本事務事	業名 伊沙	尺公民館	施設管理事業	ŧ	事務事業	【名 公 】	民館施設管理	事業	公的関与	6 シ	一卜作成日 平成2	3年6月9日
	部局名	教	枚育委員	会	課名		公民飢	官	主務課長	名	井上雅夫	シー	-卜作成者名 高	田佳代子
	事業区分	○ 1 ソフト?	事業	0	3 経常的事	務事業		5 補助3	金·負担金·支	援	業運営方法	✓ 1 直	営 3	全部委託
	争未凸刀	○ 2 ハード		•	4 施設の維	持管理		6 内部管	管理事務・その)他	未连占力広	2 -	-部委託 4	補助等
		基本構想(政		人が輝くる					実施計画			事業	の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施	(2))生涯学習	の充実			0	1 該当	平	成年	. ~ 平	成 年 🗸 期	間設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習	関連施設の整	と備充 ラ	実∙機能強	能化 🔘	2 非該当	相	艮拠法令等	社会教育	法・阿波市公民館条例	i)
		対象(誰を、 何を)	市民											
		目的(どういう状態にし	最終的	生活文化	の振興、地域	づくりの	り拠点とし	て市民だ	が自主的に活動	できるよう	5維持管理に	努めます。		
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの				なもの)5つまて	<u>(</u>						
N				出しの連絡										
	事業の				の連絡調整									
	活動内容	③ 電気の保			の点検業務									
		④ 浄化槽の												
		⑤ 公民館の				-m / I				, _		,		
		指標名	<u> </u>	【江集信	スは指標設定	埋田	単位		平成 21		平成 22		平成 23 年度	最終目標
	数値目標	開館日数		359日			日	目標		359		359	3	59
	(事業の目的					+		実績 目標		359 27		359 27		25
	及び活動内 容の達成度	利用団体数		24団体			クラブ数			22		24		(0)
	を測る指標)											24		
							ŀ	実績						_
	予算費目	会 計			会計		款	10 教育	-	項	5 社会教	育費	目 3 公民館	費
			<u> </u>		1 年度》	と算	平成	22	年度決算	平成		F度予算	備考	
		国庫支出	l 金			千円			千円			千円		
		県 支 出	金			千円			千円			千円		
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円		
D	旦 按尹未貝	その他特定則			19	千円			22 千円			10 千円		
0		一般財	源		3,315				3,253 千円			,167 千円		
		計(A)			3,334	千円			3,275 千円			<mark>,177</mark> 千円		
		正職員工数:		.300 人	1,885	千円	0.300	人	1,838 千円	0.200	人 1	<mark>,209</mark> 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職			_									
		臨時·嘱託工数·	· 経費 0	.000 人		千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円		
	全体争到	業費(A+B)			5,219	千円			5,113 千円		4	·, <mark>386</mark> 千円		

				チェ	ック項目					_	次評	西		_	-次評価(の説	明		二次	:評価	5
		1.		なくても、公平 事業を廃止・					0	少ない	0	大きし	Α.	市が実施る団体は	施しなくて ないと思し			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	F度以降実施	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手段	と、た	ち法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いない	١					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	『が必	ひずしも適切と	はいえない。	0	いえない	γ <u> </u>	いえる	,		体・クラブ り有効性		主事業は	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢献	献度:	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえない	`/ •	いえる	,	力元での), H WIT	(C)	,,,,,	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で類	頁似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	0	しない	١					0	する	•	しない
CHEC		4.	事業の継続を	としても成果の	つ向上が期待	待で	きない。		0	できない	γ <u> </u>	できる)					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣ってし	いる	と思う。		0	目標に	比べて会	岩っている	3	公民館の成している	の利用者	は多く	(十分達	0	目標に比っ	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対	付して成果があ	5まり上が.	って	いないと思う	0	0	あまり上	がってし	いない		1,0,0,0,0	~ 7 °			0	あまり上が	ってい	ない
	度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し ⁻	てい	ると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成して	いる						•	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	こコストが高い	١,				0	高い	0	適当					めて契約 用率も高		高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	ҟのノウハウヤ	お新たな制度	度を	活用できる。		0	できる	•	できな	ili	く、効率性			/II+ OIEI	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	こ、実施手具 しゅうしゅう	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更な	ょどにより:	コス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						欠評										次評					
	評値	五点	必要性	有効性	達成度	Ę	効率性	総合評	7価		必要	性	₹	与 効性 4	達成人	芰	効率	生	総	合評	価
	今後	を の			<u> </u>	\bigcirc	4 方法改善	A ○ 民間委i	千等			 大·充	<u></u>		<u> </u>		4 方法改善	Ė	○ 民間	A 『委』	 £等
Δ		9性	○縮小	○ 統合/終			廃止/休止	O DOING A	-				$\overline{\bigcirc}$	統合/終			廃止/休		0 201		
ACT												=	二次	評価での		頁及(ゾー次評	価と	の相違点	į	
T		面の 題	公民館の維 います。	持管理に多くの)費用が要り	ります	すが、節約して	運営していきた	こいと	思											
0	ĸ	. N.Z.									利田	やまい	白加	子な環境に	・奴かス						
N		草案 電行		するために冷暖	爰房を適切に	こ使り	用し、必要のな	い照明等を節	約しる		111110			1.0%2010	- 21 02 0						
	計	画	す。																		
	委員 指摘	員会 事項																			

	No. 40 —	25 基本事務事業	業名 林公	民館企画	画運営事業	事務事	事業名	地域ふれあ	ハ体験	事業	公的関与	8 シ	一ト作成日	平成23年	F6月7日
	部局名	教	育委員:		課名		民館		課長名		井上雅夫		-卜作成者名		瀬和文
	事業区分	● 1 ソフト事			3 経常的事務			助金·負担st		_ * = *		✓ 1 値			部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理() 6 内	部管理事務		也	连舌刀丛		-部委託		助等
		基本構想(政策						実施計	画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施第		生涯学習				● 1 該当		平成				✓期間	
		主要施策	(5)	特色あるst	生涯学習プログラ	ラムの整備	•提供	○ 2 非該	<u>当</u>	根拠	L法令等	社会教育	法 阿波市公	\民館条例	J
		対象(誰を、 何を)	市民												
	事業の 対象・目的	目的(どうい : う状態にし -	最終的	花作りを込	通して4町住民の	交流づくり	Jを図り a	ます。							
PL		たいのか)	今年度												
AN					ゝ ますか。(主な										
N					ガーデニングの基										
	事業の		乍りをして	いる中で	生じた疑問を講座	座のときに.	、講師よ	り指導が受け	られま	す。					
	活動内容	3													
		4													
		5		= <i>bb</i> ; = : =					-		— - 12			<i></i>	
		指標名			スは指標設定理	由単位			21 年		平成 22		平成 23		最終目標
	数値目標	参加人数		1回15人 =90人	、× 6回	人	里			120 80		120 90	_	90	
	(事業の目的 及び活動内			—90人			目			80		90			
	及び活動内 容の達成度						実								
	を測る指標)						目								
							実								
	予算費目	会 計		一般	会計	崇		教育費		項:	社会教育	費	目 3	公民館費	
			平	成 2	1 年度決算				算	平成	23 年	度予算		備考	
		国庫支出	金		Ŧ	円			千円			千円			
		県 支 出	金		Ŧ	-円			千円			千円			
	直接事業費		債		Ŧ	円			千円			千円			
D	但该事本貝	その他特定財				-円			千円			千円			
0			源		189 T				千円			198 千円			
		計(A)			189 T				千円			<mark>198</mark> 千円			
	L M #5 /_ >	正職員工数·紹		350 人	2,199 T	円 0.03	5 人	214	千円	0.350 人	. 2,	<mark>116</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職					<u> </u>			0.000					
		臨時·嘱託工数·約	全費 0.0	000 人	0 7		0 人		千円	0.000 人	*	0 千円			
	宝 体 事 多	集費(A+B)			2,388 ∓	- H		353	千円		2.	314 千円			

			チェック項目		— <u>2</u>	欠評価	一次評価の説明		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大きい	住民の教養を高めたり交流 を図るために、必要性はあり		○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	す。		○ ない	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	ない			🔾 ಹತ	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない			ાઢ	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる	積極的に参加されているの 成果の向上はあります。	で、	○ いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	● いえる	成未の同工はありより。		○ いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない			○ する	● しない
HE		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる			○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に比	とべて劣っている	参加者の申込み数は、減っ のの参加率はよいので、ほ		○ 目標に比べ	べて劣っている
	達世	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上が	がっていない	成できていると思います。	はほ	○ あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	•	概ね達成]		○ 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達成				● 十分達成	している
	かり	1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	受益者負担からすれば、効 は良いかと思います。	率性	○ 高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない	TO THE CHAIN OF THE		○ できる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない			೦ ಹತ	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	ない			೦ ಹತ	● ない
			一次評価				二次評価	•		
	評值	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評 4 4 3 4 A	価		必要性	有効性	<u> </u>	生 総	合評価 A
	今征	を の	○ 拡大·充実 ● 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託 ○ 日間委託 ○ 日間会託 ○ 日間会託	£等	0		•	 法改善		
A	方向	句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		C	114		止/休」		
ACT							マ評価での指摘事項及び-	-次評(価との相違点	Į .
	課	画の!題	参加者は、積極的に取り組んでいるのでこのまま続けられたらいいかと思	思いま	きす。					
0						状での継続維持	‡をして下さい			
N	と事	革案 単行 画	予算の減額等はしないで欲しいと思います。			D. C 02 11 12 12 12 1				
	委	員会								
	相雅	事項								

	No. 40 —	26 基本事務事	業名林公	民館企画	運営事業		事務事業	業名 林	高齢者教室			公的関与	8 シ	ート作成日 平成:	23年6月7日
	部局名	教	育委員会	<u>></u>	課名		公民館	涫	主務課	長名		井上雅夫	シー	ート作成者名	長瀬和文
	事業区分	① 1 ソフト事	事業		3 経常的事	務事	業	5 補助	金·負担金·	支援	中来	運営方法	✓ 1 値	堂 🗌 3	3 全部委託
	争未区万	○ 2ハード	事業		4 施設の維	持管理	里	6 内部	『管理事務・	その他	尹未	连邑万法	_ 2 -	-部委託	Ⅰ 補助等
		基本構想(政	<mark>策)</mark> 1. 人	くが輝くま	ちづくり				実施計画	亘			事業	(の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施	策)(2)	生涯学習	の充実			(● 1 該当		平成		~ 平	<mark>- 成 年 ☑ 其</mark>	間設定なし
		主要施策	(5)特	寺色ある生	E涯学習プロ・	グラム	の整備・拮	是供 (2 非該当		根	処法令等	社会教育	法 阿波市公民館	条例
		対象(誰を、 何を)	阿波町林	地区の高	齢者										
		目的(どうい う状態にし	最終的	高齢者の	教養の向上、	健康の	D増進、生	きがい	づくりを図りま	す。					
PL		たいのか)	今年度												
A		具体的にどの													
N		① 年3回お設								の講義	を受ける	実践します。			
	事業の	② 林幼稚園!													
	活動内容	③ 林小学校:				て、文	化の継承	を行い	ます。						
		4 公民館施													
		⑤ 一日研修													
		指標名	-		は指標設定	埋田	単位		平成	21 年		平成 22		平成 23 年度	最終目標
	数値目標	お誕生会		1回:90人 =270人			人	目標			300		300	2	70
	(事業の目的							実績 目標			273 100		247 100		90
	及び活動内 容の達成度	クリスマス会		1回:90人 =90人	(×1回		人	実績			90		85		90
	を測る指標)			- 30人 1回: 70人	v 1 🗔			日標			70		70		70
		一日県外研修		1回:70人 =70人	(^ I 凹			実績			62		50		70
	予算費目	会 計		一般:	会計		款	10 教				5 社会教育		目 3 公民館	
			平月			と算	平成	22	年度決算	拿 ュ	平成		交	備利	
		国庫支出				千円				-円			千円		
		県 支 出	金			千円			7	-円			千円		
	直接事業費	地 方	債			千円			7	-円			千円		
D	但按书未具	その他特定則				千円			7	-円			千円		
0			源			千円			89 ∃				99 千円]	
		計(A)			227				89 ₌				<mark>99</mark> 千円]	
		正職員工数·約		50 人	2,199	千円	0.200	人	<mark>1,225</mark> ∃	-円 C	0.350 ノ	2,1	<mark>16</mark> 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職													
		臨時·嘱託工数·	経費 0.0	00 人		千円	0.000	人	0 =		ر 0.000		0 千円		
	全体事	業費(A+B)			2,426	千円			1,314 ₇	-円		2,2	15 千円		

					チェ	ック項目					_	次評	西		_	-次評価	の説	明		二次	:評価	5
		1.						確保できる等 響は大きくな		0	少ない	0	大き	い	自らの ⁴ 場を図る	教養を高る ことにより	かたり 必要 [,]	、交流の 性が充分	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		あると思い	ハます。			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のため	に、3	現在の手具	没、ブ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>の</i> 上回るサーヒ				隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いなし	۱,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに、	、事業内容	容が必	込ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	γ <u> </u>	いえる	3	積極的に 成果の向				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化な。	ビ、旅	逆策への 貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえな	`/ •	いえる	3	1%, X 071F.	121000	C/650	· 6 7 0	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	,١					0	する	•	しない
CHEC		4.	事業の継続を	としても成	果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	γ <u> </u>	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて会	考ってい	<u>る</u>	高齢者 標は達成			がよく目	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果	があ	まり上が	って	いないと思う	0	0	あまり」	_がってし	いない		保は足以	, (<i>⊲ ⊂ i</i> ⊍	.0.490	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	付して十分	に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成して	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストが	高い	0				0	高い	0	適当		受益者: 業にも対	負担の観			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	はい	で安い経	費で運営			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	−成果の関	係で	、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	0	ない		思います	0			0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変	更な	どにより	コス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						_	次評	価							•	=	.次評	価				
	評値	甲	必要性	有効性	ŧ	達成原	芰	効率性	総合評	′価		必要	性	7	有効性	達成	度	効率	生	総	合評	価
	△ ½	を の		4 (本) (本)	担仆	4 :維持		4 方法改善	A ○ 民間委託	1生			大・充	宝	4 ┃	<u> 4</u> ∜維持		4 方法改善	ŧ.		A 引表:	1笙
		句性	○ 縮小			期設定		廃止/休止	〇 氏间安瓿	<u> </u>				$\overline{\bigcirc}$	<u>統合/終</u>			<u>カムゆき</u> 廃止/休				<u>L +</u>
A	,,,		○ 44D . 3		/ 4~/	4) IIX /C						<u> </u>	_)	評価での					の相違点	į	
ACT-O								りに運営が図ら −いと思います。				etini ⊁			にし、現状							
N	と事 計	革案 実行 ·画	企画・立案を いと思います。		— の役員	会等の道	運営を	を自主的にでき	うるよう、改革し	てい		ANI C.	ייט פּ	竹 台	1~0、灯1	作品するし	C 1. C	· ·				
	委員 指摘	員会 i事項																				

	No. 40 —	27 基本事務事	業名林グ	民館企画	画運営事業	3	事務事業	《名 阿》	皮女性セミナー	_	公的関	与 8 シ	一卜作成日 平月	戊23年6月7日
	部局名	教	育委員:	숝	課名		公民館		主務課長	名	井上雅夫	シー		長瀬和文
	事業区分	① 1 ソフト事			3 経常的事				金•負担金•支		業運営方法	. 🔽 1 値		3 全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	寺管理		6 内部	管理事務・その)他	未连舌刀刀	2 -	-部委託 🗌	4 補助等
		基本構想(政	-						実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施						<u> </u>	· H21—			₣ ~ 平	成 年 ✓	期間設定なし
		主要施策	(5)	特色ある生	上涯学習プログ	ブラムの	ⅅ整備∙拐	是供 〇	2 非該当	村	视法令等			
		対象(誰を、 何を)	阿波市在	住の女性										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	女性として	この知識や教養	&を高る	め心身とも	もに健康	的で明るい地域	붗づくりを目	目的とします。)		
PL			今年度											
A		具体的にどの	ような活	動を行い	いますか。(主	なもの	5つまて	<u>.</u>						
N		① 年10回(5												
	事業の	② 阿波市当局		政懇談会										
	活動内容	③ 阿波市議会	会傍聴											
		④ 一泊研修												
		5	•		, , +b, _m =n,	rm 🚣 l	94 / 1		T. # 04	左击		o /= d=	T. C. C. C. C.	
		指標名	1		は指標設定:	埋出	単位	目標	平成 21	<u>年度</u> 380	平成 2	2 年度 370	平成 23 年度	また 最終目標 350
	数値目標	参加人数		1回:35/	人×10回		人	実績		268		326		300
	(事業の目的 及び活動内			0007	·	+		<u> </u>		200		020		
	容の達成度						ᄉ	<u>実績</u>						
	を測る指標)							目標						
								実績						
	予算費目	会 計		一般	会計		款	10 教育	育費	項	5 社会教	育費	目 3 公民	館費
				成 2	1 年度決	:算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備	考
		国庫支出				千円			千円			千円		
		県支出	金			千円			千円			千円		
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円		
DO		その他特定財			050	千円			千円			千円		
U		<u>一般財</u> 計(A)	源		252 252				103 千円 103 千円			418 千円 418 千円		
		正職員工数·紹	を基 0.4	200 人		千円	0.200	人	1,225 千円	0.400	人	2,418 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職		200 人	1,207	1 1 1	0.200	<u> </u>	1,220 TF	0.400	<u> </u>	<u>, 710</u> 117		
		臨時·嘱託工数·統		000 人	0	千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円		
		業費(A+B)		, ,	1,509				1,328 千円		-	<mark>2,836</mark> 千円		

			チェック項目		<u>—</u> ;	次評価	一次評価の説明		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大きい	阿波町では婦人会組織がなくな り女性が共通の目的をもって教	0 :	少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	養を高めたり健康的で明るい地 域づくりをするために必要と思い	O 1	ない	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない	ます。	0 7	ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない		Ο ι	いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	ヽ ● いえる	セミナーの事業内容が充実して いるためか参加希望者も多く、参	Ο ι	いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	ヽ ⊙ いえる	加者自らが年間事業計画等も策	Ο ι	いえない	● いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない	定し成果をあげています。	0 7	する	● しない
KOHHOK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	○ できる		0	できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標にと	七べて劣っている	毎回参加率も高いので、充分達 成できていると思います。	0	目標に比へ	て劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	がっていない	1x C C C 0.0 C 15 0 . A 9 .	<u></u> О а	あまり上がっ	ていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達点	 或している		○ #	既ね達成し	ている
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	•		成している		O -	十分達成し	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	無償で講演してくださる講師を招 いて経費の節減を図り、事業運	O i	高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない	営に取り組んでいるので効率性	0	できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない	は高いと思います。	O 7	ある	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない		O 7	ある	● ない
			一次評価				二次評価			
	評値	三点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価			有効性 達成度 効率 l	生	総	合評価
	全征	を の	4	F笙	C	<u> 4 </u> 〕拡大∙充実	4 4 4 ┃	É	〇 民間	_ <u>A</u>
A		句性		-	-		統合/終期設定 ○ 廃止/休		<u> </u>	1XIL 4
C							評価での指摘事項及び一次評		相違点	
ACT-O		面の :題	参加希望者の対策等が課題です。							
N		革案			現	状のままで継続	して下さい			
		€行 ·画	組織の役割等を決めて、事業運営を推進したらよいかと思います。							
	委員指摘	員会 i事項								

	No. 40 —	28 基本事務事業	名 林公民	に館生活で	文化振興事業	事務	事業名	各種	恒体の育成		公的関	与 9 シ	一卜作成日 平成23	年6月7日
	部局名	教育	育委員会		課名	公.	民館		主務課長	名	井上雅夫	シー		基瀬和文
	事業区分	1 ソフト事2 ハード事			経常的事務 施設の維持				金・負担金・支管理事務・そ(業運営方法			全部委託 補助等
		基本構想(政策	•				<u> </u>	JHPE	実施計画	716			の開始・終了	ر، رحراا
	総合計画	基本計画(施策		<u>.</u> 涯学習σ					1 該当	平	成		·成 年 / 期間	引設定なし.
	100 D D D	主要施策		<u>係団体σ</u>					2 非該当		拠法令等	社会教育		
		計争(無な		区の高齢						12	(), (), ()			,,,
		目的(どうい <mark>最</mark> う状態にし	人終的 地	!域におけ	る積極的な社	会参加活	動を支	援する	と共に、利用	団体との連	携を密にし [・]	て発表の場を	を設けるようにします。	
PL		たいのか) 4	7年度											
A		具体的にどの。												
N		① 年末年始を							しています。					
	事業の	② 子ども会の	レクリェー	ションやス	ポーツ少年団	の合宿も	あります	<i>t</i> 。						
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名			指標設定理			- I=	平成 21		平成 2	22 年度	平成 23 年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	林長寿クラブ参加		:会:90人 :人体育大	役員会:24 会:30人	ᄾᅟᄾ		1標 		180		160	144	1
	及び活動内	グラウンドゴルフ			76 その他の	大人]標		500		460	450	3
		人数	会	::180		^		と 積		470				
	を測る指標)	サークル活動団	休 24	4団体×1	2回			標		300		288		3
			PT 2					ミ績		250		268		
	予算費目	会 計	I — 15	一般会				教育		項	5 社会教		目 3 公民館費	
		园 庄 土 小	平成	21	年度決算		ረ	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考	
		国庫支出:				-円			千円			千円		
			金 責			-円			千円			千円		
D		<u>地 方 か</u> その他特定財活				-円 -円			<u>千円</u> 千円			<u>千円</u> 千円		
O			原 原			- Pi						千円		
		<u></u>	//N		0 =				0 千円			0 千円		
		正職員工数・経	費 0.05	0 人	314		60 人		306 千円		人	1,209 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職利		- /\	<u> </u>	3 5.00	- /\		111	5.250	/\ <u> </u>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
		臨時·嘱託工数·経		0 人	0 =	-円 0.00	00 人		0 千円	0.000	人	0 千円		
	全体事業	業費(A+B)			314				306 千円			1,209 千円		

					ェック項目					-:	次評値	Ш			-次評価				二次	評価	<u> </u>
		1.					が確保できる等 δ 響は大きくな		0	少ない	•	大きし		てが趣味	トクラブで	ので2 熱心に	!4団体全 □利用・活	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	丰度以降実	ぼ施す	^ト る緊急性が認	められない。	0	ない	•	ある		動してい	ます。			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の向	句上のために、	現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			[隣自	目治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	•	いなし	۸,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	こ、事業内	容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	(いえる	3	自主運	営で活動	してい	へるので、 有効利用	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる			いると思し			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で	類似・重複	した	と事務事業が存	在する。	0	する	0	しなし	,1					0	する	•	しない
KOHHOK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	得て	ごきない 。		0	できない	O	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	こいる	ると思う。		0	目標によ	七べて多	らってい	გ		ル活動団		効率よく	0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果が	あまり上か	うて	こいないと思う	0	0	あまり上	がってし	いない		す。		va/c	.心()	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目れ	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達別	龙してし	いる						0	概ね達成	してい	a
	^	4.	目標設定に対	して十分に	目標を達成	えして	こいると思う。		•	十分達								•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	,١٥				0	高い	0	適当			が非常に		ので、効	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	捜を	・ ・活用できる。		0	できる	0	できた		半性に富	冨んでいま	す。		0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施手	段等		 !がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
	'	4.	電子化や契約	方法の変更	などにより	リコス	スト削減の余地	 !がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					_	次評	平価								_	次評	価				
	評値	西点	必要性	有効性	達成	叓	効率性	総合評	価		必要	性	有	効性	達成	度	効率	生	総	合評	F 価
		多の	4 ○ 拡大·充	生 4 申	4 _ 伏維持		<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	エ笙		4 \ tr\ -	 大•充:	宝		<u>4</u> 犬維持		<u>4</u> 方法改善	ŧ.		A 表	1生
		句性	○ 縮小		以推行 V期設定	0		〇 氏间安瓿	<u>L</u>						X推行 X期設定	0	廃止/休				1L 寸
C			ं गाम उ	O 170 E 7 1	(77) HX/C		<i>1</i> ,0000 11100				× 1114						ゾー次評		の相違点	į	
ACT-O		面の 題	各種団体の個	使用等、時間	調整が必要	更です	- •														
N	改革	革案								活	動のす	支援と	自主道	運営の指	導が必要	です。					
	と事	実行 画	他の公民館	と連携を図りた	よがら、充写	実度を	を高めます。														
	委員 指摘	員会 j事項								-											

	No. 40 —	29 基本事務事	業名林な	\民館施訓	设管理事業	4	事務事簿	業名 公	民館施設管理	事業	公的関与	6 シ	·一ト作成日 平成	23年6月7日
	部局名	教	育委員:	숲	課名		公民館	官	主務課長	名	井上雅夫	シー	ート作成者名	長瀬和文
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務				金・負担金・支		業運営方法	1 直		3 全部委託
		○ 2 ハード			4 施設の維持	宇官坦		6 内部	管理事務・その)他 -				4 補助等
	40 A =1 -	基本構想(政							実施計画		_12		の開始・終了	₩n nn = n - +
	総合計画	基本計画(施		生涯学習			- 144 As 3		1 該当					期間設定なし
		主要施策	(2)	生涯字省	関連施設の整備	備 発す	€•機能5	強化 C	2 非該当	1 相	艮拠法令等	社会教育	i法 阿波市公民館	徐 例
		対象(誰を、 何を)	阿波市民	;										
		目的(どうい う状態にし	最終的	地域住民	のための学習の	の場を	提供し、	相互の	人間関係を深め	ると共に心	少豊かな人づく	りを形成し	. ます。	
PL			今年度											
A		具体的にどの	ような混	動を行い	ゝますか。(主た	なもの	5つまで	で)						
N					争化槽保守点椅	ì、 清排	帚業務)							
	事業の	② 施設運営	(日常の	公民館の貸	貸出業務)									
	活動内容	3												
		4												
		5	_	1-1										
		指標名	<u> </u>	計算式又	ては指標設定理	里由	単位		平成 21		平成 22		平成 23 年度	
	数値目標	開館日数		年間35	9日		日	目標		359		359		359
	(事業の目的					_		実績 目標		359 27		359		24
	及び活動内 容の達成度	利用団体数		舞踊が	卜23団体		団体	実績		27		24 24		24
	を測る指標)							目標		21		24		
								実績						_
	予算費目	会 計		一般	会計		款	10 教	<u></u> 育費	項	5 社会教	育費	目 3 公民	館費
			平	成 2	1 年度決	算	平成	22	年度決算	平成		度予算	備	
		国庫支出				千円			千円			千円		
		県 支 出	金			千円			千円			千円]	
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円		
D	巴汉于木貝	その他特定則				千円			12 千円			3 千円		
0		一般財	源			千円			3,058 千円			,225 千円		
		計(A)	th		2,845				3,070 千円		3	<mark>,228</mark> 千円		
		正職員工数·約		050 人	314	千円	0.050	人	306 千円	0.100	人	604 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職		000 1			0.000			0.000		0		
		臨時·嘱託工数·	社 費 0.	000 人		千円	0.000	人	0 千円	0.000		0 千円		
	至体争	業費(A+B)			3,159	十円			3,376 千円		3	<mark>,832</mark> 千円		

				チュ	ニック項目					_	次評値	5			一次	評価の	の説り	明		二次	評估	<u> </u>
		1.		なくても、公平 事業を廃止・					0	少ない	0	大きし	۸,	実施	型主体が 型味クラ	ない(ブで熱	りで2 热心に	!4団体全 ニ利用・活	0	少ない	•	大きい
	必	2.	厳しい財政権	犬況の中、次年	F度以降実	ミ施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		動して	こいます。	0			0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない							0	ある	•	ない
		4.		の低下がみられ ビスとなってし		「隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	いる	•	いなし	۱,						0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	5	自主	運営で	活動し 館業	ンてい 終け	へるので、 有効利用	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマ	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	, o	いえる	5		きている					いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複	夏した	- 事務事業が存	在する。	0	する	0	しなし	١						0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続る	をしても成果の	の向上が期	明待で	きない。		0	できなし	,	できる	5						0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	こいる	と思う。		0	目標に	七べて多	らっている	3		-クル活! を達成で			効率よく	0	目標に比	べて多	うっている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上か	うって	いないと思う	0	0	あまり上	がってし	ない		す。	と生然し		٠.٥٠	./6.0 ' &	0	あまり上が	ってし	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	或してし	งอ							0	概ね達成	してい	る
	}	4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	えして	こいると思う。		•	十分達	成してに	いる							•	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	N _o				0	高い	0	適当			度が非 こ富んで			ので、効	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	か新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できた	١J٤	III	二田 /0 C	.0.0	9 0		0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	と成果の関係で	で、実施手	段等	まを見直す余地	ヹがある。	0	ある	0	ない							0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更な	よどにより	リコス	く ト削減の余地	ヹがある。	0	ある	0	ない							0	ある	•	ない
					_	次評	評価									Ξ	次評	価				
	評値	西点	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合評	陌		必要	性	4	与効性	j	達成原	隻	効率'	生	総	合計	P価
	<u>ا</u>	を の		<u> 4 </u>	<u> 4</u> 犬維持		<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委託	千笙			 大•充¦	宔	<u>4</u>	 現状維持		\bigcirc	4 方法改	差		A 引委:	托等
А		句性		○ 統合/終		Ö		O KINIXI							/終期記			廃止/休		O 2011	11 32 1	1647
C			112	100000																の相違点	į	
ACT-0		面の :題	各種団体の)使用等、時間詞	調整が必要	更です	•			Ŧ(שום.	すいエ	四 +辛 /	一女牙	, Z							
N	اع	革案 実行 画	他の公民館	を連携を図りな	がら、充写	実度を	を高めます。			一一	πυ\	- 9 6 12	永 切	i 〜 ジ i & .	、 る。							
	委員 指摘	員会 i事項																				

	No. 40 —	30 基本事務事業	名 青少年	ホーム企	:画運営事業	事務事	事業名	教室	クラブ活動事	業	公的関与	8 シ	/一ト作成日 平	成23年	6月1日
	部局名	教育	育委員会		課名	公	民館		主務課長	名	井上 雅夫	シー	ート作成者名	岸_	L 隆
	事業区分	1 ソフト事業2 ハード事			経常的事務 施設の維持				・負担金・支 理事務・そ <i>0</i>		業運営方法	✓ 1 直	宣営 −部委託 [部委託 助等
	総合計画	基本構想(政策 基本計画(施策 主要施策	<mark>)</mark> (5)青红	少年の健		等への参画	新促進		実施計画 1 該当 2 非該当		成 <mark>年</mark> 根拠法令等		Éの開始・終了 <mark>[☑]成 年 □</mark>	/ <mark>期間</mark>	設定なし
		対象(誰な			F及び市内の										
		目的(どうい 最う状態にし	長終的 勤劳	労青少年(の日常に必要	な援助を-	与え、そ	の福	祉の増進を図	ります。					
PL		たいのか) 🧁	7年度	<i>-</i>		1.5-	L>								
A		具体的にどのよ							1°4115 6°5						
IN	事業の	① 各種スポーツ													
	事業の 活動内容	② 各種文化、i③ ボランティア													
	石刻内台	~			uthというお祭			小小子	IF来、小一ム/	月1市/					
		<u>(5)</u>	口到 (i dosi	011 01 100	utile 0 - 703 %		姓百/								
		指標名	計:	算式又は	指標設定理	由			平成 21	年度	平成 22	年度	平成 23 年	度	最終目標
		各種スポーツクラ	ラブ活/	- E 100	人×12ヵ月	人		標		2400		2160		2400	
	(事業の目的	動参加人数	•	7 77 1007	スペーとカカ	^		績		2403		2626			
	谷の连戍及	教室、講座 参加	1人員 一方	5月30人	× 12ヵ月	人		標績		500 153		360 226		300	
	を測る指標)	ボランティア活動 参	加者数 2	5人×2回	ā	人		標		60		50		40	
			// A A		-			績		56	I as a test of the	26			
	予算費目	会 計	T - 15	一般会				労働		項	1 労働諸				ホーム管理費
		国庫支出3	平成	21	年度決算 0 Ŧ		, 2	22	年度決算 0 千円	平成	23 左	度予算		備考	
			立 金		0 +				0 千円			0 千円			
			<u>*</u> 責		0 1				0 千円			0 千円			
D		その他特定財活			0 7				0 千円			0 千円			
0			原		606 T	-円			534 千円			595 千円	1		
		計(A)			606 T	- 円			534 千円			595 千円			
		正職員工数·経			628 T				613 千円			<mark>,231</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職種			トーム指導員			年ポー	-ム指導員		青少年ホーム				
		臨時·嘱託工数·経	費 0.700	人	1,260		0 人		1,260 千円	0.700		,260 千円			
	全体争到	業費(A+B)			2,494 T	-円			2,407 千円		6	<mark>,086</mark> 千円			

			チェック項目		-	−次評	価	-	-次評価の説	明		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	<i>y</i> (大きい	ニーズも語	年々増加傾向に 高く必要性は求め	られいま	0 :	少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	(ある		青少年の活動施 所と少ないうえ、		0 7	ない	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	0	ない	唯一のもの	のであり、働く青い 必要な援助を行	少年の日	0 ;	ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	C	いない	て重要で		ブル・設とし	0 1	เงอ	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえた	il (いえる		、クラブ、同好 ンティア活動、彳		0 (いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえた	il (いえる		「効利用されて		0 1	いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	(しない				0 7	する	● しない
HECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できた	il (できる				0 -	できない	● できる
C		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標(こ比べて	劣っている		をとしての教室、 クラブ等が計画		0 1	目標に比/	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり	上がって	いない	施されて	います。参加者	が数も目	O a	あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね道	達成して	 เงอ	一標を達成	しております。		○ #	概ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	•	十分	達成して	いる				O -	十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	(適当		は年々削減し団体も多く効率		O i	高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	5	できなし		回体のシバがも	- 江(6同	0 -	できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	(ない				0 7	ある	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	0	ない				O i	ある	● ない
			一次評価						二次評				
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評 4 4 4 4	価		必要		有効性	達成度	効率	生	総	合評価
	今後	∌の	4	£¥.			<u>·</u> 大·充実	4 〖	 4 犬維持 ○	<u> 4 </u> 方法改氰	Ę	○ 民間	_A]委託等
A		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止	=		<u>○ 縮</u>		→ 統合/終					
C			公典判述の出籍でありますが、ナーノの利田老は増加してわりの面積	(十古			=	次評価での)指摘事項及	び一次評	価との)相違点	į.
CTIO		画の :題	経費削減の状況下でありますが、ホームの利用者は増加しており必要性勤労青少年の福祉増進に関する施設としては1つしかなく、現状の人員、で実施していくべきと考えます。			1 目√1	÷∧≠≠≢	『施して下さ	`				
N	改造と実計		現状の活動内容、事業活動に加え、近年問題化しているニート対策など 年を取り巻く問題にも取り組む必要があります。	助労 勤労	青少	÷π1∧	₩		, -o				
		員会 事項											

	No. 40 —	31 基本事務事	業名 青少	〉年ホーム	ム企画運営事業	事務事	業名施	設管理事業			公的関与 6	シ	ート作成日		年6月1日		
	部局名	教育委員				公民館 主務課長名						-ト作成者4	岸上隆				
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•支		巨类温	営方法				全部委託		
		○ 2 ハード	,		4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	の他 ¯	#未连	呂刀仏		·部委託		補助等		
		基本構想(政						実施計画					の開始・終				
	総合計画	基本計画(施				○ 1 該当							7成 年 □ 期間設定なし				
		主要施策	(4)	青少年の	体験•交流活動等	への参画	促進 🬘)2 非該当		根拠法	 卡令等						
	事業の 対象・目的	対象(誰を、 何を)	何を) 「中内に居住りる自少年及び、中内の事務所に勤務りる自少年														
		目的(どうい う状態にし	最終的	的 勤労青少年ホームの管理 勤労青少年の日常生活の援助と福祉の増進を図るため一般教養講習会、グループ活動等効率的に行えるよう維持管理を図ります。													
PL		たいのか)	今年度														
A	事業の 活動内容 数業内 値の 事びの 達活 達指標的 の を 測る 指標 の り を 割 の り で り で り で り で り り で り り り り り り し う り り り う り り り り り り り り	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
N		① 施設運営(ホームの貸し館業務) 夜間の利用も含みます。															
)	業務(防リ	と設備、電	気の保安、浄化槽	設備点検、	清掃業	務)									
		3															
		4															
		<u>5</u>				.1 3271		T					-				
		指標名			スは指標設定理由	単位		平成 21 年度				<u></u> 241	平成 2	3 年度	最終目標		
		施設の維持管理 開館 日数		年間241	日	日	目標 実績			241 241				24	241		
		山奴				1	日標		24	271		241					
							実績										
						1	目標			+							
							実績										
	予算費目	会 計		一般	会計	款	5 労	働費	耳	1	労働諸費		目	2 勤労青少年	キホーム管理費		
			平	·成 2	1 年度決算	平成	22	年度決算	平成	2		5算		備考			
		国庫支出	金		0 f f	1		0 千円			0	千円					
		県 支 出	金				0 千円				0	千円					
		地 方	債				0 千円				0	千円					
D		その他特定則					0 千円					千円					
0		一般財	源				534 千円				1,651						
		計(A)	th		606 ∓₽			534 千円			1,651	千円					
	1 //L # / = \	正職員工数·網		100 人	<mark>628</mark> ∓₽	0.100	人	613 千円	0.300)人	1,813	千円					
	人件費(B)	臨時·嘱託職		700 1		0.700	<u> </u>	0	0.701								
	人生士	臨時·嘱託工数·	社 費 0.	700 人	0 ∓F		人	0 千円)人		千円					
	至 体 争 差	業費(A+B)			1,234 千円			1,147 千円			3,464	千円					

			チニ	一次評価										二次評価					
	必要性	1.	市が実施しなくても、公主体があり、事業を廃止	0	少ない	•	大きい	利用者も増加傾向にあります。 ニーズも高く必要性も高いです。			0	少ない	い ④ 大きい						
		2.	厳しい財政状況の中、次常	0	ない	•	ある	勤労青少年に対する活動施設と				0	ない	•	ある				
		3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。						•	ない	- しては唯一のものであります。勤 労青少年の日常生活に必要な援 助を行う施設として重要です。				0	ある	● ない		
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。						•	いない					0	いる		いない	
	有効性	1.	施策の目的を実現するため	こ、事業内容が	が必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	• •	いえる	各種教室、クラブ、同好会、講 座、ボランティア活動、各種研修					いえない	•	いえる	
		2.	事業内容のマンネリ化など、	0	いえない	•	いえる	会等が有効に利用しています。					いえない	い ・ いえる					
C		3.	市が実施する施策の中で	0	する	•	しない				0	する	● しない						
CHMC		4.	事業の継続をしても成果の	0	できない	• •	できる				0	できない	•	できる					
CK	達成度	1.	目標設定に対して進捗状況	0	目標によ	とべて劣	っている		放養としての教室、グルー 」、クラブ等の事業が計画				○ 目標に比べて劣っている						
		2.	目標設定に対して成果が	0	あまり上	がってい	ない	どおり実力	0	○ あまり上がっていない									
		3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。						龙してい	გ	ても目標を達成しています。				○ 概ね達成している				
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。						十分達成している								● 十分達成している		
	効率性	1.	効果に比べてコストが高	0	高い				経費的には年々削減していま す。利用団体も多く効率性が高					•	適当				
		2.	他の実施主体のノウハウ	0	できる	•	できない	いです。				0	できる	•	できない				
		3.	予算・人員と成果の関係:	0	ある	•	ない				0	ある	● ない						
		4.	電子化や契約方法の変更	0	ある	0	ない		0	ある	•	ない							
						二次評価													
	評価	引	必要性 有効性	効率性						有効性 達成度				生 総		合評価			
		後の		<u>┃ 4</u> 伏維持 【(_ 4 〕方法改善		A 			 た・充実			<u>4</u> 七注动第	A 善 ○ 民間委託					
		句性) 廃止/休止	〇 以间安市	- T	-			<u> 統合/終</u>			<u>カムゆき</u> 廃止/休.		O KIE	女山	. 1	
C	75.			(M) (M)	y year, France				7 11H 3)	評価での					の相違点	į		
ACT-O			施設の設備、機械等が老杯ため、時代のニーズにあった	足進す	-る 施設を整備し、利用しやすい環境を保って下さい。														
N	と事 計	画	調理器具等に老朽化が見ら の改修、修繕を計画的に行	備、機															
	委員 指摘	員会 事項																	